

# 共同利用・共同研究拠点の新規認定に関する要項

平成29年1月31日

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会

共同利用・共同研究拠点に関する作業部会



## 目 次

共同利用・共同研究拠点の新規認定に関する要項	1
別紙 1 認定研究施設及びその類型等について	7
別紙 2 新規認定に係る審議体制	9
別紙 3 新規認定の書面審議票（様式）	10
別紙 4 新規認定に関するヒアリング実施要領	15
別紙 5 新規認定のヒアリング審議票（様式）	16
別紙 6 新規認定申請書に関する記入・提出要領	17
別紙 7-1 新規認定申請書【単独拠点用】	42
別紙 7-2 新規認定申請書【ネットワーク型拠点用】	66



## 共同利用・共同研究拠点の新規認定に関する要項

文部科学大臣が国立大学における共同利用・共同研究拠点（以下、「拠点」という。）を認定するにあたり、本作業部会においては、この要項に基づき、専門的見地から個々の申請施設の拠点としての妥当性を審議する。

### 1. 制度の趣旨

我が国の学術研究の発展には、大学が有する大型・最新の研究設備や大量の学術資料・データ等を、個々の大学の枠を越えて全国の研究者が共同で利用し共同研究を行う「共同利用・共同研究」のシステムが大きく貢献してきた。

従来、共同利用・共同研究は、国立大学の全国共同利用型の附置研究所等を中心に推進されてきたが、学術研究の更なる発展のためには、国公私立大学を問わず大学の研究ポテンシャルを活用し、研究者が共同で研究を行う体制を整備することが重要である。

このため、文部科学省では、平成20年7月に学校教育法施行規則を改正し、国公私立大学を通じたシステムとして、新たに文部科学大臣による拠点の認定制度を設けた。

本制度の実施により、これまで広範な研究分野にわたり拠点が形成されるなど、我が国の学術研究の基盤強化と新たな学術研究の進展に大きく貢献してきた。

今後は、国立大学改革が加速する中、拠点が各大学の強み・特色として、「研究力強化」、「グローバル化」、「イノベーション機能の強化」の実現に向け、これまで以上に重要な役割を果たすことや、国際的な頭脳循環のハブ・人材育成拠点としての役割を果たすことなど、大学の枠を超え時代の新しい要請に柔軟に対応することが期待されている。

### 2. 認定の対象

- ・単独の拠点を旨す、国立大学の研究施設及び研究施設の一部（例：研究所附属の研究センター）
- ・ネットワーク型の拠点を旨す、国立大学の研究施設及び研究施設の一部（例：研究所附属の研究センター）

※研究施設の一部については、1研究室等ではなく、大学の学則等の学内規程に位置付けられた研究組織であることが必要。

※ネットワーク型の拠点とは、研究分野の特性に応じ、他大学も含めた複数の研究所や研究施設がネットワークを構成して拠点を設置すること。

※詳細については、別紙1「認定研究施設及びその類型等について」を参照。

### 3. 審議に当たっての基本方針

審議に当たっては、申請施設が学校教育法施行規則第143条の3に掲げる拠点の趣旨に合致しているか、拠点の認定等に関する規程（以下、「規程」という。）第3条に掲げる認定の基準を満たしているか、我が国の学術研究の更なる発展に資する中核拠点としての安定的・継続的な活動が期待できるか、国立大学の強み・特色として機能強化にどのように貢献するか等を確認することを基本として、審議する。

### 4. 審議方法等

本作業部会において、書面、ヒアリング及び合議による審議を行う（体制図は別紙2「新規認定に係る審議体制」のとおり）。その際、平成27年度に期末評価を受けた拠点が関わる申請施設については、当該拠点の期末評価結果も活用する。

#### (1) 書面による審議

全ての申請施設を対象として、次の手順で書面による審議を行う。

- ① 書面による審議は、作業部会委員（以下「委員」という。）が、申請書類をもとに行う。
- ② 書面による審議にあたって、委員は、「5. 審議に当たっての主な観点」に基づき、評価を行う。
- ③ 審議の参考にするため、必要に応じて有識者に申請施設についての意見書を求めることができる。
- ④ 委員は、次表により評価審議を行う。

評 価
共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が特に期待できる。
共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できる。
共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性を期待するにはやや不十分（不明確）な点がある。
共同利用・共同研究拠点の認定等に関する規程第3条に定める認定の基準を満たしていない。

- ⑤ 書面による審議の様式は、別紙3「新規認定の書面審議票」のとおり。
- ⑥ 申請施設が、規程第3条に定める認定の基準を満たしていないと外形上明らかに判断される場合は、ヒアリングによる審議を行わない。

#### (2) ヒアリングによる審議

各委員の評価に基づく書面による審議において、ヒアリングによる審議を行うこととされた申請施設については、申請書類等をもとに、ヒアリングを行う。

- ① ヒアリングは、別紙4「新規認定に関するヒアリング実施要領」により行う。
- ② 審議の参考にするため、必要に応じて有識者に申請施設についての意見書を求めることができる。

- ③ 委員は、次表により評価審議を行う。

評 価
共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が特に期待できる。
共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できる。
共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性を期待するにはやや不十分（不明確）な点がある。
共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できない。

- ④ ヒアリングによる審議の様式は、別紙5「新規認定のヒアリング審議票」のとおり。

### (3) 合議による審議

ヒアリング終了後、書面及びヒアリングによる各委員の審議結果を踏まえ、合議により認定候補拠点を決定する。

## 5. 審議に当たっての主な観点

学校教育法施行規則第143条の3に掲げる拠点の趣旨及び規程第3条に掲げる認定の基準に基づき、以下の主な観点により審議を行う。

### ① 申請施設が、大学の学則その他これに準ずるものに記載されているか。

(規程第3条第1号関連)

- 大学学則、大学組織規則、研究所組織規程等に申請施設が明確に位置付けられているか。
- 申請施設が、研究室など極端に細分化された単位ではないか。
- ネットワーク型拠点の場合、全ての構成施設がこれらの観点を満たしているか。

### ② 申請施設が、研究実績、研究水準、研究環境等に照らし、当該申請施設の目的たる研究の分野における中核的な研究施設であると認められるか。

(規程第3条第2号関連)

- 下記のような点を総合的に考慮して、申請施設が当該分野における中核的な研究施設であると認められるか。
  - ・ 申請施設におけるこれまでの研究成果、共同利用・共同研究の実績
  - ・ 競争的資金の採択状況
  - ・ 卓越した研究者やリーダーの存在
  - ・ 大型プロジェクトの発案、運営、ネットワーク構築等の取組状況
  - ・ 申請施設が有する施設・設備及び学術資料等の整備状況・利用状況 等
- ネットワーク型拠点の場合、ネットワーク全体として中核的な研究施設であると認められるか。
- 同一分野に複数の拠点が想定される場合、以下の点に留意し、それぞれの申請施設が中核的な研究施設であると認められるか。
  - ・ 当該分野における各拠点の特徴
  - ・ 当該分野における拠点毎の役割分担及び連携体制
  - ・ 当該分野における拠点分散の必要性及び地域性

- ・ 各拠点における研究者の集積の見込み
- ・ 各拠点に対する研究者コミュニティの支持の状況 等

③ 共同利用・共同研究に必要な施設、設備及び資料等を備えているか。

(規程第3条第3号関連)

- 共同利用・共同研究に必要な施設、設備、学術資料、データベース等を保有しているか。
- 上記の施設、設備、学術資料、データベース等が、申請時点において共同利用・共同研究にどの程度利用されているか(利用者数、利用数、アクセス数 等)。

④ 共同利用・共同研究の実施に関する重要事項であって、申請施設の長が必要と認めるものについて、当該申請施設の長の諮問に応じる機関として、次に掲げる委員で組織する運営委員会等を置き、この委員の数が運営委員会等の委員の総数の2分の1以下であるか。

イ 当該申請施設を置く大学の職員

ロ 関連研究者

ハ その他当該申請施設の長が必要と認める者

(規程第3条第4号関連)

- 申請施設を置く大学の職員が2分の1以下であり、かつ、研究者コミュニティの意向を適切に反映できる人数・構成となっているか。(例えば、当該大学内の委員が多すぎるなど、全国の関連研究者の意向を反映させにくい構成となっていないか)
- 審議事項等から見て、拠点における運営委員会の位置付け・役割は適切か。
- ネットワーク型拠点の場合、全体として拠点機能を発揮できる構成となっているか。(例えば、構成施設単位で運営委員会が設置されるような体制になっていないか)

⑤ 共同利用・共同研究の課題等を広く全国の関連研究者から募集し、関連研究者その他の申請施設を置く大学の職員以外の者の委員の数が委員の総数の2分の1以上である組織の議を経て採択を行っているか。

(規程第3条第5号関連)

- 関連研究者その他の申請施設を置く大学の職員以外の者が2分の1以上であり、かつ、研究者コミュニティの意向や国内外の研究分野の動向等を適切に反映できる人数・構成となっているか。
- 共同利用・共同研究の課題等の募集方法や採択方法が具体的に構想されているか。

⑥ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、申請施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うために必要な体制を整備しているか。

(規程第3条第6号関連)

- 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員(教員、技術職員、事務職員等)が配置されているか。
- 技術的支援について、例えば、技術職員の配置や設備のスムーズな利用等の面で、適切な体制が整備されているか。
- 関連研究者に対して、必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。



- その他拠点の活動内容に応じて、例えば、事務体制や研究スペースの確保、宿泊施設の確保等が適切に行われているか。
- 関連研究者に対する支援を行うに当たって、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が継続的に得られる見込みがあるか。
- ネットワーク型拠点の場合、当該拠点の運営の中核となる研究施設が設定され、当該施設が拠点の活動全体に責任を持って中心的役割を果たす体制が構築されているか。

⑦ 全国の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供を広く行っているか。

（規程第3条第7号関連）

- 下記のような情報について、例えば、ホームページやメーリングリスト、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）、学会誌での情報提供等により、広く情報提供を行う具体的方策が定まっているか。
  - ・ 共同利用・共同研究への参加の方法（課題の公募要領、施設の利用要領・利用資格等）
  - ・ 共同利用・共同研究において利用可能な施設、設備及び資料等の状況
  - ・ 申請施設における研究の成果
  - ・ その他共同利用・共同研究に参加する際に得られる支援の内容等

⑧ 共同利用・共同研究に多数の関連研究者が参加することが見込まれるか。また、多数の関連研究者から申請施設を拠点として認定するよう要請があるか。

（規程第3条第8号及び9号関連）

- これまでの共同利用・共同研究の実績（共同研究者数）はどの程度か。
- 対象となる研究者コミュニティが明確にされており、当該拠点が研究者コミュニティにとって必要不可欠であり、当該研究分野の発展に寄与するものか。また、当該拠点と研究者コミュニティが円滑かつ良好な関係を構築できているか。
- 研究者コミュニティの規模や当該拠点の規模等を考慮して、多数の関連研究者の参加が見込まれるか。
- 構想されている共同利用・共同研究の内容は関連研究者の要望を十分反映したものとなっているか。

⑨ 各国立大学の特色・強みとしての国立大学の機能強化への貢献

- 国際化へどのように貢献していくのか。（国際化へ向けた体制の強化や国際公募の状況等）
- 若手・女性・外国人研究者の人材育成及び博士課程学生の教育にどのように貢献していくのか。
- 企業等との連携等によるイノベーションの創出にどのように貢献していくのか。
- 地域の中核拠点として地方の活性化等にどのように貢献していくのか。
- 年俸制やクロスアポイントメント制度の導入等により人材の流動化にどのように貢献していくのか。

⑩ 第3期中期目標・中期計画期間における拠点としての方向性

- 国立大学改革が進む中、第3期中期目標・中期計画期間において、拠点としてどのような方向性をもって取り組んでいるのか。
  - ・ 重視する方向性の例：グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等
- 大学として拠点をどのように位置付け、今後どのように評価し、発展させていくのか。

⑪ 以上のような観点を総合的に考慮して、当該分野における中核的な拠点として認められるか (学校教育法施行規則第143条の3第2項関連)

- 拠点の形成により、当該学問分野の発展にどのように寄与するか。
- 内外の研究動向や国の学術研究全体の中での当該分野の役割の重要性等も踏まえ、拠点形成の必要性があるか。

6. 申請に係る様式等

申請に係る様式等については別紙6「新規認定申請書に関する記入・提出要領」、別紙7-1「新規認定申請書【単独拠点用】」及び別紙7-2「新規認定申請書【ネットワーク型拠点用】」のとおり。

7. その他

(1) 利害関係者の排除

- ① 作業部会の委員（以下「委員」という。）が申請施設に専任又は兼任として在職（就任予定を含む。）し、または過去3年以内に在職していた場合
- ② 委員の関係者（学部、研究科、附置研究所等の同一組織の者、親族）が申請施設の構成員となっている場合
- ③ その他、委員が中立・公正に審議を行うことが困難であると判断される事由がある場合

(2) 機密保持

- ① 委員は、審議の過程で知ることのできた情報について外部に漏らしてはならない。
- ② 委員は、委員として取得した情報（申請書類等各種資料を含む）は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意義務をもって管理することとする。

(3) 開示・公開等

- ① 審議の過程は、審議の円滑な遂行の観点から非公開とし、審議に用いる会議資料等についても非公開とする。
- ② 審議結果については、拠点認定後、ホームページへの掲載等により公開する。
- ③ 拠点として認定されなかった申請施設に対しては、その理由を開示するものとする。

(4) その他

この要項に定めるもののほか、新規認定の審議に関し必要な事項は別に定める。

## 認定研究施設及びその類型等について

### 1. 認定研究施設の対象等

文部科学大臣の認定を受けることができる共同利用・共同研究拠点（以下：拠点）は、学校教育法施行規則第143条の3第1項に規定される研究施設のうち学術研究の発展に特に資するものであることから、単独の拠点及びネットワーク型の拠点については、国立大学、公立大学、私立大学の研究施設を対象としている。

平成28年度からは、文部科学大臣が拠点として認定する対象は、国公私立大学の研究施設とするが、ネットワーク型拠点の形成促進の観点から、従前、認定の対象外であった大学共同利用機関法人・独立行政法人等が設置する研究機関を拠点の「連携施設<sup>\*</sup>」として制度上位置付け、拠点活動の活性化等を図ることとしている。

※「連携施設」とは  
(対象)

学校教育法施行規則第143条の3第1項（大学に附置される研究施設）には規定されていない大学共同利用機関や独立行政法人等の研究機関。

(要件)

文部科学大臣が新たに拠点として認定する研究施設とともにネットワークを形成し、拠点活動を主体的に行う。

(審査)

「連携施設」には、中核機関となる申請施設と同程度の申請書の提出を求める。

### 2. 拠点の類型（別添参照）

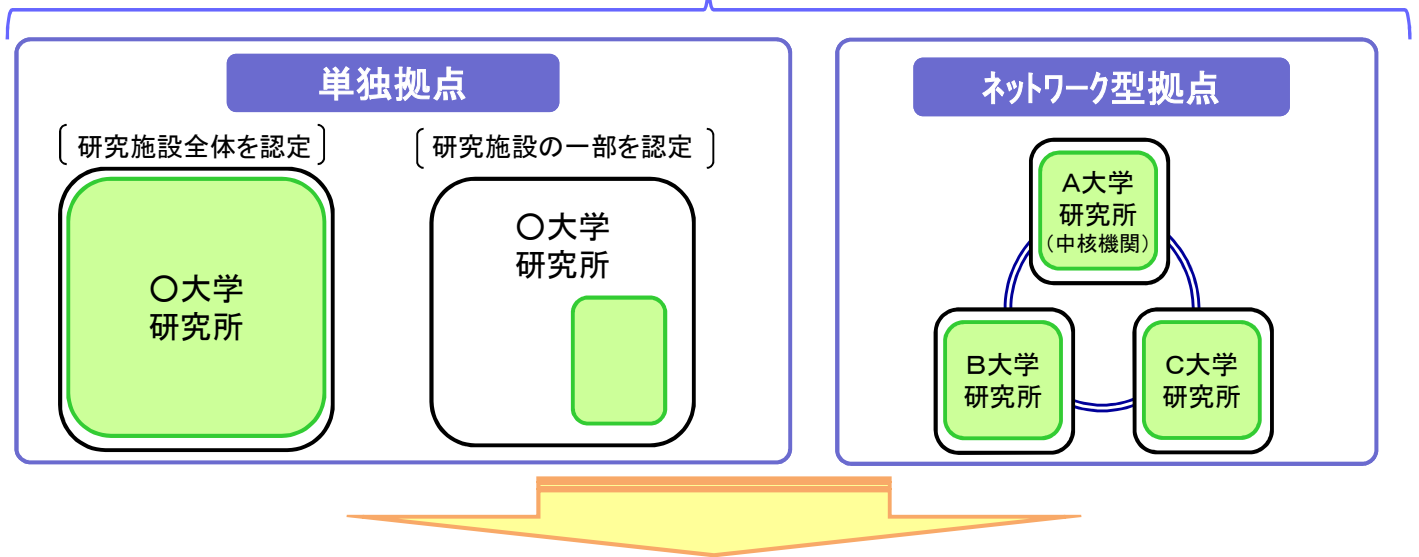
認定する拠点は、『単独拠点』又は『ネットワーク型拠点』の2つの類型を基本とするとともに、ネットワーク型拠点の形成推進の観点から、『単独拠点』と「連携施設」を構成機関とする『連携ネットワーク型拠点』を設けている。

### 3. 新規認定を受けようとする研究施設の要件

平成30年度から設置する研究施設であっても、新規認定の申請を可能とする。

# 共同利用・共同研究拠点の類型（イメージ図）

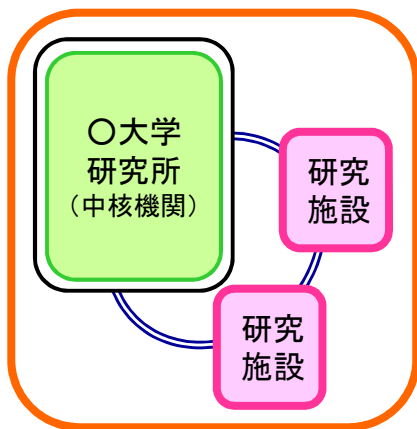
## 基本的な類型



## 基本的な類型に準じる新たな類型

### 【ネットワーク化の促進】

#### 連携ネットワーク型拠点



○拠点認定制度の対象となっていない機関(大学共同利用機関や独立行政法人等の研究機関)が認定の対象となる研究施設とネットワークを形成。

○拠点認定に際して、拠点認定制度の対象外の機関を「連携施設」(※)として制度上位置付け、上記研究施設と連携施設を構成機関とするネットワーク全体を『**連携ネットワーク型拠点**』と新たな類型として位置付ける。

認定対象組織

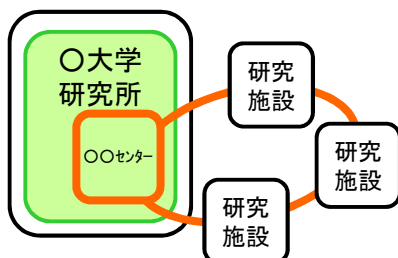
連携施設  
(認定対象外組織)

認定の範囲  
(国公立大学の研究施設)

連携ネットワーク型  
拠点の範囲

※新たな類型には位置付けないが、ネットワーク型拠点形成促進に資する研究施設の取組例

単独拠点の一部が研究施設とネットワークを形成



単独拠点において、拠点の一部の組織が、他の研究施設と連携することによって拠点のネットワーク化が促進される。このような取組を行おうとする拠点については、連携する研究施設も評価の対象とする。

## 新規認定に係る審議体制

### 共同利用・共同研究拠点に関する作業部会

※拠点申請数により、必要に応じて専門委員会において審議。

### 専門委員会（案）※

理工学系（大型設備利用型）

理工学系（共同研究型）

医学・生物学系（医学系）

医学・生物学系（生物学系）

人文・社会科学系

異分野融合系

※※各専門委員会については、拠点申請の数・内容に応じて適切な構成とする。

※※※どの専門委員会で審査を受けるかは申請施設に選択させるものとする。

## 新規認定の書面審議票（様式）

委員名 \_\_\_\_\_

大学名		研究分野	
拠点名		申請施設名	
施設代表者名			
<b>全体評価</b> <small>※観点別評価を踏まえ、全体的な評価を記入。          (いずれか一つに「○」を付す。)</small>		共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が特に期待できる。	
		共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できる。	
		共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性を期待するにはやや不十分（不明確）な点がある。	
		共同利用・共同研究拠点の認定基準を満たしていない。	
<b>書面審議所見</b>  <small>※観点別評価を踏まえ、上記の評価とした根拠・理由等について記入。</small>	(優れた点等)          (不十分（不明確）な点等)          (認定基準を満たしていないと判断する理由)          (その他) ※ヒアリングで説明を求める事項等		

<p>観点別評価</p> <p>※下記の観点別評価は、右の基準に基づき評価を行う。</p>	S	特に優れている。
	A	優れている。
	B	やや劣っている。
	C	劣っている。
<p>(1) 申請施設が、研究実績、研究水準、研究環境等に照らし、当該申請施設の目的たる研究の分野における中核的な研究施設であると認められるか。</p>	(1) 観点評価	
	S. A. B. C	
<p>○ 下記のような点を総合的に考慮して、申請施設が当該分野における中核的な研究施設であると認められるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請施設におけるこれまでの研究成果、共同利用・共同研究の実績</li> <li>・ 競争的資金の採択状況</li> <li>・ 卓越した研究者やリーダーの存在</li> <li>・ 大型プロジェクトの発案、運営、ネットワーク構築等の取組状況</li> <li>・ 申請施設が有する施設・設備及び学術資料等の整備状況・利用状況 等</li> </ul> <p>○ ネットワーク型拠点の場合、ネットワーク全体として中核的な研究施設であると認められるか。</p> <p>○ 同一分野に複数の拠点が想定される場合、以下の点に留意し、それぞれの申請施設が中核的な研究施設であると認められるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該分野における各拠点の特徴</li> <li>・ 当該分野における拠点毎の役割分担及び連携体制</li> <li>・ 当該分野における拠点分散の必要性及び地域性</li> <li>・ 各拠点における研究者の集積の見込み</li> <li>・ 各拠点に対する研究者コミュニティの支持の状況 等</li> </ul>	(評価理由等を記入)	
<p>(2) 共同利用・共同研究に必要な施設、設備及び資料等を備えているか。</p>	(2) 観点評価	
	S. A. B. C	
<p>○ 共同利用・共同研究に必要な施設、設備、学術資料、データベース等を保有しているか。</p> <p>○ 上記の施設、設備、学術資料、データベース等が、申請時点において共同利用・共同研究にどの程度利用されているか（利用者数、利用数、アクセス数 等）</p>	(評価理由等を記入)	

<p>(3) 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、申請施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うために必要な体制を整備しているか。</p>	<p>(3) 観点評価</p>
<p>○ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員（教員、技術職員、事務職員等）が配置されているか。</p> <p>○ 技術的支援について、例えば、技術職員の配置や設備のスムーズな利用等の面で、適切な体制が整備されているか。</p> <p>○ 関連研究者に対して、必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。</p> <p>○ その他拠点の活動内容に応じて、例えば、事務体制や研究スペースの確保、宿泊施設の確保等が適切に行われているか。</p> <p>○ 関連研究者に対する支援を行うに当たって、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が継続的に得られる見込みがあるか。</p> <p>○ ネットワーク型拠点の場合、当該拠点の運営の中核となる研究施設が設定され、当該施設が拠点の活動全体に責任を持って中心的役割を果たす体制が構築されているか。</p>	<p>S. A. B. C</p> <p>(評価理由等を記入)</p>
<p>(4) 全国の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供を広く行っているか。</p>	<p>(4) 観点評価</p>
<p>○ 下記のような情報について、例えば、ホームページやメーリングリスト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）、学会誌での情報提供等により、広く情報提供を行う具体的方策が定まっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同利用・共同研究への参加の方法（課題の公募要領、施設の利用要領・利用資格等）</li> <li>・ 共同利用・共同研究において利用可能な施設、設備及び資料等の状況</li> <li>・ 申請施設における研究の成果</li> <li>・ その他共同利用・共同研究に参加する際に得られる支援の内容等</li> </ul>	<p>S. A. B. C</p> <p>(評価理由等を記入)</p>



<p>(5) 共同利用・共同研究に多数の関連研究者が参加することが見込まれるか。また、多数の関連研究者から申請施設を拠点として認定するよう要請があるか。</p>	<p>(5) 観点評価</p> <p>S. A. B. C</p>
<p>○ これまでの共同利用・共同研究の実績（共同研究者数）はどの程度か。</p> <p>○ 対象となる研究者コミュニティが明確にされており、当該拠点が研究者コミュニティにとって必要不可欠であり、当該研究分野の発展に寄与するものか。また、当該拠点と研究者コミュニティが円滑かつ良好な関係が構築できているか。</p> <p>○ 研究者コミュニティの規模や当該拠点の規模等を考慮して、多数の関連研究者の参加が見込まれるか。</p> <p>○ 構想されている共同利用・共同研究の内容は関連研究者の要望を十分反映したものとなっているか。</p>	<p>(評価理由等を記入)</p>
<p>(6) 各国立大学の特色・強みとしての国立大学の機能強化への貢献</p>	<p>(6) 観点評価</p> <p>S. A. B. C</p>
<p>○ 国際化へどのように貢献していくのか。（国際化へ向けた体制の強化や国際公募の状況等）</p> <p>○ 若手・女性・外国人研究者の人材育成及び博士課程学生の教育にどのように貢献していくのか。</p> <p>○ 企業等との連携等によるイノベーションの創出にどのように貢献していくのか。</p> <p>○ 地域の中核拠点として地方の活性化等にどのように貢献していくのか。</p> <p>○ 年俸制やクロスアポイントメント制度の導入等による人材の流動化にどのように貢献していくのか。</p>	<p>(評価理由等を記入)</p>
<p>(7) 第3期中期目標・中期計画期間における拠点としての方向性</p>	<p>(7) 観点評価</p> <p>S. A. B. C</p>
<p>○ 国立大学改革が進む中、第3期中期目標・中期計画期間において、拠点としてどのような方向性をもって取り組んでいるのか。</p> <p>・重視する方向性の例：グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等</p> <p>○ 大学として、拠点をどのように位置付け、今後どのように評価し、発展させていくのか。</p>	<p>(評価理由等を記入)</p>

<p>(8) 以上のような観点を総合的に考慮して、当該分野における中核的な拠点として認められるか。</p>	<p>(8) 観点評価</p>
<p>○ 拠点の形成により、当該学問分野の発展にどのように寄与するか。</p> <p>○ 内外の研究動向や国の学術研究全体の中での当該分野の役割の重要性等も踏まえ、拠点形成の必要性があるか。</p>	<p>S. A. B. C</p> <p>(評価理由等を記入)</p>

※審議に当たっての主な観点のうち、上記観点別評価欄に掲げた項目以外の項目については、事務局において確認する。

(参考)

○ 審議に当たっての主な観点 (抄)

- ① 申請施設が、大学の学則その他これに準ずるものに記載されているのか。
- ④ 共同利用・共同研究の実施に関する重要事項であって、申請施設の長が必要と認めるものについて、当該申請施設の長の諮問に応じる機関として、次に掲げる委員で組織する運営委員会等を置き、この委員の数が運営委員会等の委員の総数の2分の1以下であるか。
  - イ 当該申請施設を置く大学の職員
  - ロ 関連研究者
  - ハ その他当該申請施設の長が必要と認める者
- ⑤ 共同利用・共同研究の課題等を広く全国の関連研究者から募集し、関連研究者その他の申請施設を置く大学の職員以外の者の委員の数が委員の総数の2分の1以上である組織の議を経て採択を行っているか。

## 新規認定に関するヒアリング実施要領

共同利用・共同研究拠点の新規認定に関する要項（以下、「新規認定に関する要項」）4（2）に定める「ヒアリングによる審議」は、この実施要領により行うものとする。

### 1. 対象

作業部会における書面による審議の結果、ヒアリングの対象とされた申請施設

### 2. ヒアリングにおける観点

- （1）新規認定に関する要項「5. 審議に当たっての主な観点」を参考とする。
- （2）書面による審議において、各委員等から出された論点等について確認する。
- （3）その他申請内容の確認等

### 3. ヒアリングの進め方等

- （1）時間配分（30分）
  - ①説明・・・10分
  - ②質疑応答・・・15分
  - ③まとめ・・・5分
- （2）説明者  
申請を行った大学の長又はそれに準ずる者、共同利用・共同研究拠点となる研究施設の長等（5名以内）
- （3）説明資料
  - ①新規認定申請書
  - ②プレゼンテーション用資料
  - ③その他関係資料（適宜）
- （4）説明内容  
新規認定申請書に基づき、新規認定に関する要項「5. 審議に当たっての主な観点」に定める観点到に沿って、簡潔に説明すること。  
なお、ヒアリングに際し、作業部会から事前に質問事項が提示された場合には、その回答を含めて説明すること。

### 4. ヒアリング時の注意事項

- （1）説明者は、当該ヒアリング開始時間15分前に指定する待合室に参集すること。
- （2）説明者は、簡潔に説明するよう心がけること。
- （3）説明時間及び質疑応答の時間は厳守し、説明が10分以内で終了しても、残り時間を質疑応答の時間に振り替えないものとする。
- （4）ヒアリング会場において、液晶プロジェクター、パソコン等の利用を希望する場合には、説明者は事前に事務局まで申し出ること。
- （5）ヒアリング内容の録画、録音は禁止する。

## 新規認定のヒアリング審議票（様式）

委員名 \_\_\_\_\_

大学名		研究分野	
拠点名		申請施設名	
施設代表者名			
全体評価		共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が特に期待できる。	
		共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できる。	
		共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性を期待するにはやや不十分（不明確）な点がある。	
		共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できない。	
所見	<p>（優れた点等）</p> <p>※上記の評価とした根拠・理由等について記入。</p> <p>（不十分（不明確）な点等）</p> <p>（拠点としての活動や発展性が期待できない理由）</p> <p>（その他）</p>		

## 新規認定申請書に関する記入・提出要領

**1. 記入要領****(1) 共通的事項**

- ・申請書はすべて日本工業規格A4版で作成してください。
- ・文字の大きさは9pt～12pt程度で作成してください。
- ・誤記入があった場合は改めて作成してください（訂正印、修正液の使用はご遠慮ください）。
- ・作成にあたって、文字数の超過等により、不自然な罫線のずれや改行等が生じた場合は、読みやすい形で適宜修正を施し作成してください。ただし、データを記入いただく項目や列の幅を変更するなどの修正は行わないでください。また、行の挿入等により、枠の途中でページが切れる場合は、適宜「改ページ」を行うなど、体裁を整えてください。なお、表示倍率の変更は行わないでください。
- ・計算式が入力されているセル（水色セル）については、変更を加えないでください。
- ・該当する事項がない場合は、「該当なし」や「－（バー）」を記入し、その旨がわかるようにしてください。該当するが、対象者等がない場合には「0」を記入してください。
- ・不要な行については削除しても差し支えありませんが、調査項目自体の削除や列やセル単位の削除は行わないでください。
- ・様式にあらかじめ※記号で入っている留意事項及び記入例は削除して作成してください。
- ・共同利用・共同研究拠点の申請にあたっては、学長からの申請としてください。なお、ネットワーク型拠点および連携ネットワーク型拠点については、各機関の長の連名での申請としてください。
- ・連携ネットワーク型拠点を形成する場合は、申請施設を連携施設に、大学を大学共同利用機関法人や独立行政法人等に適宜読み替えて、ネットワーク型拠点と同様に総括票と個票を作成してください。

## (2) 【単独拠点用】各項目の記入要領

- ・「申請者」欄は、学長の氏名を記入してください。
- ・「拠点の名称」欄は、○○○○○拠点と記入してください。
- ・「申請施設の名称」欄は、拠点となる組織の名称を記入してください。(例：○○○研究所)  
なお、連携する研究施設がある場合は以下の例のように記入するとともに、別添の「連携する研究施設概要」を作成してください。

### (単独拠点における連携する研究施設の記載例)

○○○研究所  
(連携する研究施設)  
○○大学○○○研究所  
○○大学○○○研究センター

- ・「研究分野」欄は、共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入してください。なお、科学研究費助成事業の系・分野・分科・細目表の細目レベルの名称を参考に記入してください。  
([http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02\\_koubo/saimoku.html](http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/saimoku.html))

## 1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要

### (1) 共同利用・共同研究拠点の目的・概要

共同利用・共同研究拠点の目的、全体計画の概要、拠点の目指す役割、拠点形成の必要性について記入してください。

- ・連携する研究施設がある場合は連携の必要性についても記入してください。
- ・同一分野に複数の拠点が想定される場合は、その違いを含めた必要性とネットワーク型拠点を形成しない理由を記入してください。

### (2) 期待される効果、意義

関連研究者コミュニティや全国的な学術研究の発展、若手研究者育成にどのように寄与するかなどについて記入してください。

- ・連携する施設がある場合は、連携により期待される効果についても記入してください。

### (3) 共同利用・共同研究拠点の体制

当該拠点の運営委員会等を中心とした体制を記入してください。その際、全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入してください。

- ・連携する研究施設がある場合は、当該施設を含めた構成図と役割分担についても記入してください。

## 2. 申請施設の概要

- ・申請施設の組織（組織図等）を記入してください。
- ・学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付してください。

### ・申請施設における人員、予算等の状況【別紙Ⅱ】

#### 1. 人員

- ・研究施設の教員及び技術職員、事務職員の人数について、年度別にそれぞれの5月1日現在の「常勤」及び「非常勤」の「現員数」及びその内数として「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」を記入してください。「(併任教員数)」については外数を記入してください。また、「(任期付教員数)」と、その内数としての「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」も併せて記入してください。
- ・今後、拠点化にあたり、学内措置等により、申請施設における人員の拡充等を予定している場合は、※の人員記入欄に予定の人員の内訳を記入してください。

※ 常勤・非常勤は、基本的に学校基本調査における職員の本務者・兼務者と同義としてください。

（常勤：法令上の任期、特定有期雇用など、非常勤：短時間雇用など）

※ 大学で個別に設けた職種がある場合は、その人数を、それに相当する職名（教授、准教授、講師、助教、助手）に含めて記入してください。

（参考）

学校基本調査 第3条2項（抜粋）

「教員」とは、学校の長、副学長、学部長、教授、准教授、助教、助手、講師、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭並びに専修学校及び各種学校の教員をいう。

学校基本調査一用語の解説（抜粋）

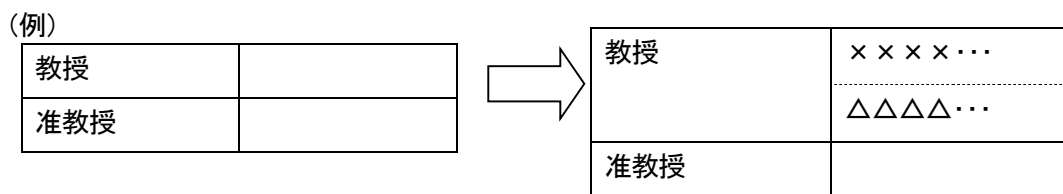
本務者…当該学校の専任の教職員。原則として辞令で判断されるが、辞令等がない場合は、待遇や勤務の実態で判断。

兼務者…本務者以外の者。

- ※ 任期制を導入しているが、該当者がいない場合は「0」と記入してください。
- ※ 任期制を導入していない場合は記入欄に「－（バー）」を記入してください。
- ※ 「併任教員数」には、学内の他部局に所属する常勤職員のうち、当該研究所等に併任の発令がなされている教職員数を記入してください。

#### 2. 人材の流動性

- ・研究教育職員（常勤）について、各年度における「転入等」・「転出等」の「総数」及び「(新規採用者・転入者数)」・「(内部昇任者数)」・「(退職者数)」・「(転出者数)」の内数を記入してください。
- ※ 例えば、助教から准教授に昇任した場合、転入等の内訳において内部昇任者数の准教授に1、転出等の内訳において内部昇任者数の助教に1を記入してください。
- ※ 新規採用者・転入者数には、内部昇任者以外の者の数を記入してください。
- ・研究教育職員（常勤）について、各職名毎に、転入者については「転入元」の、転出者については転出先の機関名（大学・大学共同利用機関・独立行政法人・民間等）及び職名を記入してください。
- ※ 行が不足する場合は、例えば以下のように行を増やしてください。



### 3. 予算の状況

- 研究施設における年度別の決算額について、「支出合計」及び、その内数として「人件費」、「共同研究費」、「共同研究旅費」、「その他」を千円単位で記入してください。

#### ・申請施設における競争的資金の採択等の状況【別紙Ⅲ】

- (1) 「競争的資金等の採択状況」については、当該研究施設の教員が研究代表者となっている「科学研究費」について、研究種目毎に年度別の応募件数及び採択件数（上段：新規、下段：全体）、金額、直接経費の合計（上段）及び間接経費の合計（下段）を記入してください。「その他の補助金等」には、科学研究費以外の補助金等について、「科学研究費を除く文部科学省の補助金等」、「文部科学省以外の府省庁の補助金等」、「地方公共団体・民間助成団体等の補助金等」にわけて記入してください。その中で主なものについて、一年度あたり3件以内を目安に、研究課題名等を記入してください。

また、「民間等との共同研究」、「受託研究」、「奨学寄附金」について、年度別の受入件数及び受入額を記入してください。

- ※ 直接経費及び間接経費は新規採択課題と継続課題の合計額となります。
- ※ 科学研究費のうち、特別研究員奨励費及び奨励研究は除きます。
- ※ 基金種目については、該当年度の当初計画に対する配分額を計上してください。
- ※ 「調整金」制度を利用して研究費を次年度使用あるいは前倒した場合も、当該年度の当初計画に対する配分額を計上してください。
- ※ 厚生労働科学研究費補助金はその他の補助金等に記入してください。
- ※ 文部科学省の所管する独立行政法人等からの補助金等については科学研究費を除く文部科学省の補助金等に記入してください。
- (2) 「主な受賞状況」については、過去5年間における主な受賞状況について、10件を上限に記入してください。
- (3) 「当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数」については、当該研究施設における研究で博士号を取得した大学院生の数について、年度別に、学内と学外に分けて記入してください。

(注) 上記の各項目について、大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、「(注)」の欄にその事情を記載してください。また、各項目に替わるデータを示すことができる場合は、それぞれの項目に記入してください。

(例) 大学の組織構成上、併任教員の実績が研究施設の実績として正しくカウントすることができないため、当該研究施設とは別の組織に所属する教員の実績を記入する 等



・申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）【別紙Ⅳ】

・過去3年度（平成25～27年度）分の主な研究実績（グローバルCOE等の他の施策による実績を含む）を別葉で記入してください。

なお、申請時点において、平成28年度内に、顕著な研究実績（成果等）をあげている場合は、平成28年度分を別葉で作成（追加）し提出してください。

記入にあたっては、新しい研究分野の開拓や、教育研究活動に反映した例、社会的ニーズとの関わり（イノベーションの創出等）、社会（地域）貢献等に留意してください。

### 3. 共同利用・共同研究の状況

共同利用・共同研究の状況の各項目について、国際的な共同利用・共同研究のための取組についても、併せて記入してください。

#### (1) 共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況【別紙Ⅴ】

・1. 「施設・設備の利用状況」については、共同利用・共同研究に供する研究施設・設備の名称、性能、概要及び目的を記入のうえ、使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。

※ 世界／国内最高性能をもつ施設・設備の場合は、「性能」欄に「○（世界最高）」または「△（国内最高）」を記入し、「施設・設備の概要及び目的」欄にどの点が世界／国内最高性能であるのかを記入してください。

※ 「年間使用人数」、「共同利用者数」については延べ人数で算出してください。

※ 「年間稼働可能時間」とは、当該設備のメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該設備を利用に供することが可能な状態にある時間を指します。

※ 「年間稼働時間」とは、利用者が当該設備を利用するために、電源が投入されている時間を指します。

※ 「(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)」とは、法人として研究に使用しない時間のうち、民間等に貸し出す時間等を指します。

・2. 「学術資料の利用・提供・整備状況」については、共同利用・共同研究に供する学術資料の名称、概要、整備の状況、利用・提供方法を記入のうえ、資料の保有数や利用・提供区分、利用件数に係るデータを年度別に記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。

※ 「利用・提供区分」の欄には、貸出や閲覧等の手法を記入してください。

※ 利用件数は、上段に総利用件数、下段に共同利用・共同研究者の利用件数（内数）を記入してください。

・3. 「データベースの作成・公開状況」については、共同利用・共同研究に供するデータベースの名称、蓄積情報の概要、公開方法を記入のうえ、蓄積量及び利用件数に係るデータを年度別に記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。

※ 「利用件数」には、データベースへのアクセス件数を記入してください。上段に総利用件数、下段に共同利用・共同研究者の利用件数（内数）を記入してください。

※ 利用件数をカウントできないものについては、欄外にその理由を記入してください。

**(2) 共同利用・共同研究の参加者に対する支援体制**

共同利用・共同研究者に対する研究室、パソコン等の提供状況、図書館等の開放状況、データベース等へのアクセス状況、宿泊施設の確保状況、申請施設の利用に関する技術的支援の状況等を記入してください。

**(3) 運営委員会の状況**

運営委員会の共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割について記入してください。その際、設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。

**(4) 共同利用・共同研究の課題の公募方法**

共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法を記入してください。研究課題の公募にあたり、予め対象を指定するなど限定的な公募を行うのか、自由に課題設定を募るのかという点についても記入ください。なお、採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。

**(5) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信**

外部の研究者等に対する共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況等の情報の提供方法や、共同利用・共同研究による研究成果の対外的な情報発信の仕組みについて記入してください。

**・共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況【別紙VI】**

- ・ 1. 「主に研究者を対象としたもの」には、共同利用・共同研究の活性化を図る目的で実施した研究会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
  - ・ 「主なシンポジウム、研究会等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。
    - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの 10 件に限定して記入してください。
    - ※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。
    - ※ 対象が国内研究者向けの場合は「国内」、国際的な研究会等は「国際」、一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください）。
- ・ 2. 「主に研究者以外の者（社会人・学生等）を対象としたもの」には、主として一般市民、地域、学生を参加者の主たる対象として実施したシンポジウムや公開講演会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
  - ・ 「主なシンポジウム、公開講演会、施設的一般公開等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、イベント毎に開催期間、形態（区分）、対象、公開講座等名称、概要、参加人数を記入してください。
    - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの 10 件に限定して記入してください。
    - ※ 「形態（区分）」については、公開講座、シンポジウム等の別を記入してください。
    - ※ 「対象」欄について、学生向けの講演会等の場合は「学生」、地域住民向けのセミナー等は「地域」、広く一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください）。

**(6) 単年度の共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数**

共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数を記入してください。その際、見込まれる参加研究者数約〇〇人（延べ約〇〇〇人・日）というように、見込まれる実人数と延べ人数を記入してください。

**(7) 申請施設における共同利用・共同研究の実績・成果【別紙Ⅶ】**

**1. 主な共同利用・共同研究の実績（成果等）**

- ・過去3年度（平成25～27年度）分の実績（主な共同利用・共同研究課題名及びその概要を5～7件程度）を別葉で記入してください。

**2. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況**

- ・応募件数及び採択件数、採択件数のうち国際共同研究数について、年度別に実績を記入してください。また、実施状況についても、新規分と継続分について、公募型及び公募型以外にわけて、年度別に実績を記入してください。

また、共同利用・共同研究課題の採択課題リストを別紙として添付してください。様式は任意ですが、課題名、代表者の所属・氏名、共同研究者の所属機関、参加者数（学内・学外）、金額、期間、分野などの項目を記載してください。

**3. 共同利用・共同研究の参加状況**

- ・共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数を区分に応じて年度別に記入してください。

※ 外国人、若手研究者（35歳以下）、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。

※ 「学内」の「機関数」については学部等の数を記入してください。

※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。

- (例) 1. ひとつの共同利用・共同研究課題で2人を共同研究員として3日間受け入れた（参加した）場合：参加人数2人、延べ人数6人
2. 同一人物が2つの共同利用・共同研究課題（課題A、課題B）に参加し、課題Aに3日間、課題Bに4日間参加（来所）した場合：参加人数2人、延べ人数7人

**4. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数**

- ・共同利用・共同研究による成果として発表された学術論文について、総論文数と著者の構成により下の5つに分けて年度別、区分毎に記入してください。

**(1) 申請施設に所属する者（大学院生を含む）のみの論文**

※ 共同利用・共同研究による成果であるが、単著の論文数や申請施設に所属する者のみを共著者としている論文数について記入してください。

**(2) 申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文**

※ 共同利用・共同研究による成果について、申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者の共著論文数について記入してください。

**(3) 申請施設以外の者（国外の研究機関に所属する者を除く）のみの論文**

※ 申請施設に所属する者を共著者として含まず、かつ、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

(4) 国内の研究機関（申請施設を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

※ 国内の研究機関（申請施設を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の共著論文であって、申請施設に所属する者を含まない論文については、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究による成果である旨の記載がある論文を記入してください。

(5) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

※ 国外の研究機関に所属する者の単著論文または国外の研究機関に所属する者のみの共著論文であって、かつ、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

※ 申請施設に所属する者とは、別紙Ⅱの「1. 人員」に含めた教職員及び指導している大学院生、ポスドク等の研究員としてください。「申請施設」とは、拠点の認定を受けようとする研究施設のことであり、一部分のみを拠点としようとする場合は、一部分の施設を指します。

※ 学内の紀要等に発表されたものは対象外とします。

※ (2)(4)については、括弧内に申請施設に所属する者（大学院生を含む）が、特に重要な役割・高い貢献（ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等）を果たしている論文数（内数）を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割も記入してください。

・ 上記論文実績のうち、高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載されたものについては、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主な論文の掲載年月及び論文名、発表者氏名を記入してください。

※ 申請施設外の研究者による実績については、「発表者名」における該当者名にアンダーラインを付してください。

※ インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、「(注)」の欄に適切な指標とその理由を記入のうえで、掲載雑誌名等を記入してください。

5. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。

※ 人文社会系で単著が成果の中心となるような分野などについて、適切な評価指標等を記入してください。

4. 研究者コミュニティの状況

・ 関連する研究者コミュニティの分野、関連する学会等の名称、研究者コミュニティからの要望の概要等を記入し、要望書等を別途添付してください。

5. 共同利用・共同研究拠点の運営に対する支援体制について

(1) 学内の支援体制

共同利用・共同研究拠点に措置することを予定している専任の研究者・教育研究支援者等や学内で予定している予算措置等、拠点に対する学内の支援の状況を記入してください。

(2) 事務体制

共同利用・共同研究拠点を運営していく上での事務体制について、組織図等を用いて記入してください。

## 6. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献

- ・拠点を形成しその活動を推進することによって、グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組等、拠点を置く大学（法人）の強み・特色として機能強化にどのように貢献していくのかその役割を記入してください。

## 7. 第3期中期目標・中期計画期間における拠点としての方向性

- ・拠点として、グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等について、どのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか今後の展望について具体的に記入してください。
- ・大学として拠点をどのように位置付け、今後どのように発展させていくのか、拠点に対する大学の考えを記入してください。

### (3) 【ネットワーク型拠点用】各項目の記入要領

#### 【総括票】

- ・「申請者」欄は、中核拠点の学長の氏名を記入してください。
- ・「拠点の名称」欄は、〇〇〇〇〇拠点と記入してください。
- ・「申請施設の名称」欄は、以下の例のように記入してください。

(ネットワーク型拠点総括票の例)  
□□大学□□□研究所 (中核拠点)  
△△大学△△△研究センター  
◎◎大学◎◎◎センター

(連携ネットワーク型拠点総括票の例)  
□□大学□□□研究所  
(連携施設)  
〇〇機構〇〇〇研究所  
〇〇機構〇〇〇研究センター

- ・「研究分野」欄は、共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入してください。なお、科学研究費助成事業の系・分野・分科・細目表の細目レベルの名称を参考に記入してください。  
([http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02\\_koubo/saimoku.html](http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/saimoku.html))

#### 1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要

##### (1) 共同利用・共同研究拠点の目的・概要

共同利用・共同研究拠点の目的、全体計画の概要、拠点の目指す役割、ネットワーク型拠点とする必要性について記入してください。

##### (2) 期待される効果、意義

関連研究者コミュニティや全国的な学術研究の発展、若手研究者育成にどのように寄与するか、ネットワーク型拠点として期待される相乗効果などについて記入してください。

##### (3) 共同利用・共同研究拠点の体制

共同利用・共同研究拠点の体制欄は、当該拠点の運営委員会等を中心としたネットワーク型拠点の構成図と役割分担を記入してください。その際、全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入してください。

#### 2. 共同利用・共同研究の状況

共同利用・共同研究の状況の各項目について、国際的な共同利用・共同研究のための取組についても、併せて記入してください。

##### (1) 共同利用・共同研究の参加者に対する支援体制

共同利用・共同研究者に対する研究室、パソコン等の提供状況、図書館等の開放状況、データベース等へのアクセス状況、宿泊施設の確保状況、申請施設の利用に関する技術的支援の状況等についてネットワークならではの取組等を記入してください。

## (2) 運営委員会の状況

運営委員会の共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割について記入してください。その際、設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。

## (3) 共同利用・共同研究の課題の公募方法

共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法を記入してください。研究課題の公募にあたり、予め対象を指定するなど限定的な公募を行うのか、自由に課題設定を募るのかという点についても記入ください。なお、採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。

## (4) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信

外部の研究者等に対する共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況等の情報の提供方法や、共同利用・共同研究による研究成果の対外的な情報発信の仕組みについて記入してください。

### ・シンポジウム等の実施状況について※ネットワーク構成拠点の総計を記入

- ・1. 「主に研究者を対象としたもの」には、共同利用・共同研究の活性化を図る目的で実施した研究会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
  - ・「主なシンポジウム、研究会等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。
    - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの10件に限定して記入してください。
    - ※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。
    - ※ 対象が国内研究者向けの場合は「国内」、国際的な研究会等は「国際」、一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください。）。
- ・2. 「主に研究者以外の者（社会人・学生等）を対象としたもの」には、主として一般市民、地域、学生を参加者の主たる対象として実施したシンポジウムや公開講演会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
  - ・「主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、イベント毎に開催期間、形態（区分）、対象、公開講座等名称、概要、参加人数を記入してください。
    - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの10件に限定して記入してください。
    - ※ 「形態（区分）」については、公開講座、シンポジウム等の別を記入してください。
    - ※ 「対象」欄について、学生向けの講演会等の場合は「学生」、地域住民向けのセミナー等は「地域」、広く一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください。）。

## (5) 単年度の共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数

共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数についてネットワークを構成する拠点の合計を記入してください。その際、見込まれる参加研究者数約〇〇人（延べ約〇〇〇人・日）というように、見込まれる実人数と延べ人数を記入してください。

(6) ネットワークの連携等による共同利用・共同研究の実績・成果【別紙Ⅲ】

1. ネットワークの連携等による主な共同利用・共同研究の実績（成果等）

- ・ネットワークの連携等による共同利用・共同研究のうち、過去3年度（平成25～27年度）分の実績（主な共同利用・共同研究課題名及びその概要を5～7件程度）を別葉で記入してください。

2. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況※ネットワーク構成拠点の総計を記入

- ・応募件数及び採択件数、採択件数のうち国際共同研究数について、年度別に実績を記入してください。また、実施状況についても、新規分と継続分について、公募型及び公募型以外にわけて、年度別に実績を記入してください。

また、共同利用・共同研究課題の採択課題リストを別紙として添付してください。様式は任意ですが、課題名、代表者の所属・氏名、共同研究者の所属機関、参加者数（学内・学外）、金額、期間、分野などの項目を記載してください。

3. 共同利用・共同研究の参加状況※ネットワーク構成拠点の総計を記入

- ・共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数を区分に応じて年度別に記入してください。

※ 外国人、若手研究者（35歳以下）、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。

※ 「ネットワーク内」の「機関数」については構成機関の数を記入してください。

※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。

- (例) 1. ひとつの共同利用・共同研究課題で2人を共同研究員として3日間受け入れた（参加した）場合：参加人数2人、延べ人数6人
2. 同一人物が2つの共同利用・共同研究課題（課題A、課題B）に参加し、課題Aに3日間、課題Bに4日間参加（来所）した場合：参加人数2人、延べ人数7人

4. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数※ネットワーク構成拠点の総計を記入

- ・共同利用・共同研究による成果として発表された学術論文について、総論文数と著者の構成により下の5つに分けて年度別、区分毎に記入してください。

(1) ネットワークの構成機関に所属する者（大学院生を含む）のみの論文

※ 共同利用・共同研究による成果であるが、単著の論文数や申請施設に所属する者のみを共著者としている論文数について記入してください。

(2) ネットワークの構成機関に所属する者とネットワークの構成機関以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文

※ 共同利用・共同研究による成果について、申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者の共著論文数について記入してください。

(3) ネットワークの構成機関以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文

※ 申請施設に所属する者を共著者として含まず、かつ、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。



**(4) 国内の研究機関（申請施設を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文**

※ 国内の研究機関（申請施設を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の共著論文であって、申請施設に所属する者を含まない論文については、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究による成果である旨の記載がある論文を記入してください。

**(5) 国外の研究機関に所属する者のみの論文**

※ 国外の研究機関に所属する者の単著論文または国外の研究機関に所属する者のみの共著論文であって、かつ、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

※ ネットワークの構成機関に所属する者とは、各研究施設の個票において「I. 研究施設の概要」の「2. 人員」に含めた教職員及び指導している大学院生、ポスドク等の研究員としてください。「ネットワーク構成機関に所属する者」とは、ネットワーク拠点の認定を受けようとする研究施設に所属する者のことであり、一部分のみを拠点としようとする場合は、一部分の施設を指します。

※ 学内の紀要等に発表されたものは対象外とします。

※ (2)(4)については、括弧内にネットワークの構成機関に所属する者（大学院生を含む）が、特に重要な役割・高い貢献（ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等）を果たしている論文数（内数）を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割も記入してください。

・上記論文実績のうち、高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載されたものについては、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主な論文の掲載年月及び論文名、発表者氏名を記入してください。

※ ネットワークの構成機関外の研究者による実績については、「発表者名」における該当者名にアンダーラインを付してください。

※ インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、「(注)」の欄に適切な指標とその理由を記入のうえで、掲載雑誌名等を記入してください。

**5. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。**

※ 人文社会系で単著が成果の中心となるような分野などについて、適切な評価指標等を記入してください。

**3. 研究者コミュニティの状況**

・関連する研究者コミュニティの分野、関連する学会等の名称、研究者コミュニティからの要望の概要等を記入し、要望書等を別途添付してください。

**4. 国立大学全体の機能強化への貢献**

・拠点を形成しその活動を推進することによって、グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組等、国立大学全体の機能強化にどのように貢献していくのかその役割を記入してください。

### 5. 第3期中期目標・中期計画期間における拠点としての方向性

- ・拠点として、グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等について、どのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか今後の展望について具体的に記入してください。

## 【個票】

- ・「申請者」欄は、各研究施設の大学の学長の氏名を記入してください。
- ・「拠点の名称」欄は、○○○○○拠点と記入してください。
- ・「申請施設の名称」欄は、拠点となる研究施設又は連携施設の名称を記入してください。  
(例：○○○研究所) ※中核拠点についてはその旨(中核拠点)と追記してください。
- ・「研究分野」欄は、共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入してください。なお、科学研究費助成事業の系・分野・分科・細目表の細目レベルの名称を参考に記入してください。  
([http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02\\_koubo/saimoku.html](http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/saimoku.html))

## 1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要

### (1) 共同利用・共同研究拠点の目的・概要

共同利用・共同研究拠点の目的、申請施設のネットワーク型拠点での役割やその必要性について記入してください。

### (2) 期待される効果、意義

関連研究者コミュニティや全国的な学術研究の発展や若手研究者育成にどのように寄与するか、ネットワーク型拠点が申請施設に及ぼす効果などについて記入してください。

## 2. 申請施設の概要

- ・申請施設の組織(組織図等)を記入してください。(ネットワーク型拠点を構成する全ての申請施設の概要を記入する必要はありません。)
- ・学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付してください。

### ・申請施設における人員、予算等の状況【別紙Ⅰ】

#### 1. 人員

- ・研究施設の教員及び技術職員、事務職員の人数について、年度別にそれぞれの5月1日現在の「常勤」及び「非常勤」の「現員数」及びその内数として「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」を記入してください。「(兼任教員数)」については外数を記入してください。また、「(任期付教員数)」と、その内数としての「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」も併せて記入してください。
- ・今後、拠点化にあたり、学内措置等により、申請施設における人員の拡充等を予定している場合は、※の人員記入欄に予定の人員の内訳を記入してください。

※ 常勤・非常勤は、基本的に学校基本調査における職員の本務者・兼務者と同義としてください。

(常勤：法令上の任期、特定有期雇用など、非常勤：短時間雇用など)

※ 大学で個別に設けた職種がある場合は、その人数を、それに相当する職名(教授、准教授、講師、助教、助手)に含めて記入してください。

(参考)

学校基本調査 第3条2項(抜粋)

「教員」とは、学校の長、副学長、学部長、教授、准教授、助教、助手、講師、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭並びに専修学校及び各種学校の教員をいう。

学校基本調査－用語の解説(抜粋)

本務者…当該学校の専任の教職員。原則として辞令で判断されるが、辞令等がない場合は、待遇や勤務の実態で判断。

兼務者…本務者以外の者。

- ※ 任期制を導入しているが、該当者がいない場合は「0」と記入してください。
- ※ 任期制を導入していない場合は記入欄に「- (バー)」を記入してください。
- ※ 「併任教員数」には、学内の他部局に所属する常勤職員のうち、当該研究所等に併任の発令がなされている教職員数を記入してください。

## 2. 人材の流動性

- ・研究教育職員（常勤）について、各年度における「転入等」・「転出等」の「総数」及び「(新規採用者・転入者数)」・「(内部昇任者数)」・「(退職者数)」・「(転出者数)」の内数を記入してください。
  - ※ 例えば、助教から准教授に昇任した場合、転入等の内訳において内部昇任者数の准教授に1、転出等の内訳において内部昇任者数の助教に1を記入してください。
  - ※ 新規採用者・転入者数には、内部昇任者以外の者の数を記入してください。
- ・研究教育職員（常勤）について、各職名毎に、転入者については「転入元」の、転出者については転出先の機関名（大学・大学共同利用機関・独立行政法人・民間等）及び職名を記入してください。
  - ※ 行が不足する場合は、例えば以下のように行を増やしてください。

(例)

教授		⇒	教授	××××…
准教授			准教授	△△△△…

## 3. 予算の状況

研究施設における年度別の決算額について、「支出合計」及び、その内数として「人件費」、「共同研究費」、「共同研究旅費」、「その他」を千円単位で記入してください。

### ・申請施設における競争的資金の採択等の状況【別紙Ⅱ】

- ・1. 「競争的資金等の採択状況」には、当該研究施設の教員が研究代表者となっている「科学研究費」について、研究種目毎に年度別の応募件数及び採択件数（上段：新規、下段：全体）、金額、直接経費の合計（上段）及び間接経費の合計（下段）を記入してください。「その他の補助金等」には、科学研究費以外の補助金等について、「科学研究費を除く文部科学省の補助金等」、「文部科学省以外の府省庁の補助金等」、「地方公共団体・民間助成団体等の補助金等」にわけて記入してください。その中で主なものについて、一年度あたり3件以内を目安に、研究課題名等を記入してください。

また、「民間等との共同研究」、「受託研究」、「奨学寄附金」について、年度別の受入件数及び受入額を記入してください。

- ※ 直接経費及び間接経費は新規採択課題と継続課題の合計額となります。
- ※ 科学研究費のうち、特別研究員奨励費及び奨励研究は除きます。
- ※ 基金種目については、該当年度の当初計画に対する配分額を計上してください。
- ※ 「調整金」制度を利用して研究費を次年度使用あるいは前倒しした場合も、当該年度の当初計画に対する配分額を計上してください。

※ 厚生労働科学研究費補助金はその他の補助金等に記入してください。

※ 文部科学省の所管する独立行政法人等からの補助金等については科学研究費を除く文部科学省の補助金等に記入してください。

- ・ 2. 「主な受賞状況」については、過去 5 年間における主な受賞状況について、10 件を上限に記入してください。
- ・ 3. 「当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数」については、当該研究施設における研究で博士号を取得した大学院生の数について、年度別に、学内と学外に分けて記入してください。
- ・ 4. 上記の各項目について、大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、「(注)」の欄にその事情を記載してください。また、各項目に替わるデータを示すことができる場合は、それぞれの項目に記入してください。

(例) 大学の組織構成上、併任教員の実績が研究施設の実績として正しくカウントすることができないため、当該研究施設とは別の組織に所属する教員の実績を記入する 等

#### ・申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）【別紙Ⅲ】

過去3年度（平成25～27年度）分の主な研究実績（グローバルCOE等の他の施策による実績を含む）を別葉で記入してください。

なお、申請時点において、平成28年度内に、顕著な研究実績（成果等）をあげている場合は平成28年度分を別葉で作成（追加）し提出してください。

記入にあたっては、新しい研究分野の開拓や、教育研究活動に反映した例、社会的ニーズとの関わり（イノベーションの創出等）、社会（地域）貢献等に留意してください。

### 3. 共同利用・共同研究の状況

共同利用・共同研究の状況の各項目について、国際的な共同利用・共同研究のための取組についても、併せて記入してください。

#### (1) 共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況【別紙Ⅳ】

- ・ 1. 「施設・設備の利用状況」については、共同利用・共同研究に供する研究施設・設備の名称、性能、概要及び目的を記入のうえ、使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。

※ 世界／国内最高性能をもつ施設・設備の場合は、「性能」欄に「○（世界最高）」または「△（国内最高）」を記入し、「施設・設備の概要及び目的」欄にどの点が世界／国内最高性能であるのかを記入してください。

※ 「年間使用人数」、「共同利用者数」については延べ人数で算出してください。

※ 「年間稼働可能時間」とは、当該設備のメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該設備を利用に供することが可能な状態にある時間を指します。

※ 「年間稼働時間」とは、利用者が当該設備を利用するために、電源が投入されている時間を指します。

※ 「(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)」とは、法人として研究に使用しない時間のうち、民間等に貸し出す時間等を指します。

- ・ 2. 「学術資料の利用・提供・整備状況」については、共同利用・共同研究に供する学術資料の名称、概要、整備の状況、利用・提供方法を記入のうえ、資料の保有数や利用・提供区分、利用件数に係るデータを年度別に記入してください。
  - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。
  - ※ 「利用・提供区分」の欄には、貸出や閲覧等の手法を記入してください。
  - ※ 利用件数は、上段に総利用件数、下段に共同利用・共同研究者の利用件数（内数）を記入してください。
  
- ・ 3. 「データベースの作成・公開状況」については、共同利用・共同研究に供するデータベースの名称、蓄積情報の概要、公開方法を記入のうえ、蓄積量及び利用件数に係るデータを年度別に記入してください。
  - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。
  - ※ 「利用件数」には、データベースへのアクセス件数を記入してください。上段に総利用件数、下段に共同利用・共同研究者の利用件数（内数）を記入してください。
  - ※ 利用件数をカウントできないものについては、欄外にその理由を記入してください。

## (2) 共同利用・共同研究の参加者に対する支援体制

共同利用・共同研究者に対する研究室、パソコン等の提供状況、図書館等の開放状況、データベース等へのアクセス状況、宿泊施設の確保状況、申請施設の利用に関する技術的支援の状況等を記入してください。

## (3) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信

外部の研究者等に対する共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況等の情報の提供方法や、共同利用・共同研究による研究成果の対外的な情報発信の仕組みについて記入してください。国際的な情報提供・情報発信をしている場合は、その状況についても記入ください。

## ・ 共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況について【別紙V】

- ・ 1. 「主に研究者を対象としたもの」には、共同利用・共同研究の活性化を図る目的で実施した研究会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
  - ・ 「主なシンポジウム、研究会等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。
    - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの10件に限定して記入してください。
    - ※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。
    - ※ 対象が国内研究者向けの場合は「国内」、国際的な研究会等は「国際」、一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください）。
  
- ・ 2. 「主に研究者以外の者（社会人・学生等）を対象としたもの」には、主として一般市民、地域、学生を参加者の主たる対象として実施したシンポジウムや公開講演会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
  - ・ 「主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、イベント毎に開催期間、形態（区分）、対象、公開講座等名称、概要、参加人数を記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの10件に限定して記入してください。

※ 「形態（区分）」については、公開講座、シンポジウム等の別を記入してください。

※ 「対象」欄について、学生向けの講演会等の場合は「学生」、地域住民向けのセミナー等は「地域」、広く一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください。）。

#### （4）単年度の共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数

共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数を記入してください。その際、見込まれる参加研究者数約〇〇人（延べ約〇〇〇人・日）というように、見込まれる実人数と延べ人数を記入してください。

#### （5）申請施設における共同利用・共同研究の実績・成果【別紙VI】

##### 1. 主な共同利用・共同研究の実績（成果等）

- ・過去3年度（平成25～27年度）分の実績（主な共同利用・共同研究課題名及び御その概要を5～7件程度）を別葉で記入してください。

##### 2. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

- ・応募件数及び採択件数、採択件数のうち国際共同研究数について、年度別に実績を記入してください。また、実施状況についても、新規分と継続分について、公募型及び公募型以外にわけて、年度別に実績を記入してください。

また、共同利用・共同研究課題の採択課題リストを別紙として添付してください。様式は任意ですが、課題名、代表者の所属・氏名、共同研究者の所属機関、参加者数（学内・学外）、金額、期間、分野などの項目を記載してください。

##### 3. 共同利用・共同研究の参加状況

- ・共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数を区分に応じて年度別に記入してください。

※ 外国人、若手研究者（35歳以下）、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。

※ 「学内」を「ネットワーク内」として記入してください。

※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。

- （例）
1. ひとつの共同利用・共同研究課題で2人を共同研究員として3日間受け入れた（参加した）場合：参加人数2人、延べ人数6人
  2. 同一人物が2つの共同利用・共同研究課題（課題A、課題B）に参加し、課題Aに3日間、課題Bに4日間参加（来所）した場合：参加人数2人、延べ人数7人

##### 4. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

- ・共同利用・共同研究による成果として発表された学術論文について、総論文数と著者の構成により下の5つに分けて年度別、区分毎に記入してください。

###### （1）申請施設に所属する者（大学院生を含む）のみの論文

※ 共同利用・共同研究による成果であるが、単著の論文数や申請施設に所属する者のみを共著者としている論文数について記入してください。

###### （2）申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文

※ 共同利用・共同研究による成果について、申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者の共著論文数について記入してください。

**(3) 申請施設以外の者（国外の研究機関に所属する者を除く）のみの論文**

※ 申請施設に所属する者を共著者として含まず、かつ、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

**(4) 国内の研究機関に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文**

※ 国内の研究機関（申請施設を含む）に所属するも者と国外の研究機関に所属する者の共著論文であって、申請施設に所属する者を含まない論文については、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究による成果である旨の記載がある論文を記入してください。

**(5) 国外の研究機関に所属する者のみの論文**

※ 国外の研究機関に所属する者の単著論文または国外の研究機関に所属する者のみの共著論文であって、かつ、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

※ 申請施設に所属する者とは、個票別紙Ⅰの「1. 人員」に含めた教職員及び指導している大学院生、ポスドク等の研究員としてください。「申請施設」とは、拠点の認定を受けようとする研究施設のことであり、一部分のみを拠点としようとする場合は、一部分の施設を指します。

※ 学内の紀要等に発表されたものは対象外とします。

※ (2)(4)については、括弧内に申請施設に所属する者（大学院生を含む）が、特に重要な役割・高い貢献（ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等）を果たしている論文数（内数）を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割も記入してください。

・ 上記論文実績のうち、高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載されたものについては、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主な論文の掲載年月及び論文名、発表者氏名を記入してください。

※ 申請施設外の研究者による実績については、「発表者名」における該当者名にアンダーラインを付してください。

※ インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、「(注)」の欄に適切な指標とその理由を記入のうえで、掲載雑誌名等を記入してください。

**5. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。**

※ 人文社会系で単著が成果の中心となるような分野などについて、適切な評価指標等を記入してください。



#### **4. 共同利用・共同研究拠点の運営に対する支援体制について**

##### (1) 学内の支援体制

共同利用・共同研究拠点に措置することを予定している専任の研究者・教育研究支援者等や学内で予定している予算措置等、拠点に対する学内の支援の状況を記入してください。

##### (2) 事務体制

共同利用・共同研究拠点を運営していく上での事務体制について、組織図等を用いて記入してください。

#### **5. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献**

- ・拠点を形成しその活動を推進することによって、グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組等、拠点を置く大学（法人）の強み、特色として機能強化にどのように貢献していくのかその役割を記入してください。

#### **6. 第3期中期目標・中期計画期間における拠点としての方向性**

- ・拠点として、グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等について、どのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか今後の展望について具体的に記入してください。
- ・大学として拠点をどのように位置付け、今後どのように発展させていくのか、拠点に対する大学の考えを記入してください。

## 2. 提出要領

### (1) 受付期間

平成 29 年 3 月 17 日 (金) ～3 月 23 日 (木) 17:00 【必着】

### (2) 提出先

〒100-8959 千代田区霞が関 3-2-2 (東館 17F)

文部科学省研究振興局学術機関課 大学研究所・研究予算総括係

※ 郵送する際、封筒に「共同利用・共同研究拠点の新規認定申請書在中」と朱書きしてください。

### (3) 提出形式

申請書を提出する際は、別紙の様式を適宜活用のうえ、学長名の公文書にて提出してください。

### (4) 提出部数等

#### ① 提出書類等及び部数

- ・ 申請書正本 (公文書を申請書の前に添付) : 1 部
- ・ 申請書複本 (上記申請書正本から公文書を除いたもののコピー) : 30 部
- ・ 申請書等のデータの入った CD-R(W) : 1 枚

※別紙 I、申請書及び別紙 II～VII (別添「連携する研究施設概要」、2. 大学等の学則等、3. 運営委員会等の設置規則 (案) 及び委員名簿 (案)、4. 研究者コミュニティからの要望書を別ファイルとし、併せて、全体をまとめた PDF ファイルに頁数を付したものを作成し保存してください。(ネットワーク型拠点については申請施設毎のフォルダを設け保存するとともに、全体をまとめた PDF ファイルに頁数を付したものを保存してください。)

※調書の自由記述欄に文章以外の図や写真、グラフ等を記載いただくことは可能ですが、提出を求めている運営委員会等の設置規則、運営委員会等の議事録等の関係書類以外の参考資料については添付しないでください。

#### ② 書類のまとめ方

- ・ 提出書類は全体をまとめて頁数を付したもので、全て両面印刷 (カラー可) にしてください。
- ・ 単独拠点については、以下の順番で全体をまとめ、左上 1 箇所をステープラーで留めてください。

##### ① 表紙 (別紙 I)

##### ② 申請書及び別紙 II～VII、(連携する研究施設がある場合は、別添「連携する研究施設概要」)

##### ③ 大学等の学則等 (申請施設を記載している規則)

##### ④ 運営委員会等の設置規則 (案) 及び委員名簿 (案)

##### ⑤ 研究者コミュニティからの要望書等

- ・ ネットワーク型拠点については、中核拠点が総括票を作成し、中核拠点を含めた各研究施設がそれぞれ個票を作成し、中核機関によるとりまとめの上、以下の順番で全体をまとめ、左上 1 箇所をステープラーで留めてください。

##### ① 表紙 (別紙 I)

##### ② 総括票及び別紙 II～III

##### ③ 運営委員会等の設置規則 (案) 及び委員名簿 (案)

④ 研究者コミュニティからの要望書

⑤ 個票及び別紙Ⅰ～Ⅵ、

⑥ 大学等の学則等（申請施設を記載している規則）

※⑤、⑥を研究施設毎にまとめてください。（例：A 研究所⑤⑥、B 研究所⑤⑥、C・・・）

## （５）その他

- ・ 申請書の記入・提出にあたって不明な点がある場合は、下記担当者まで問合せください。
- ・ 問合せの窓口は事務局に一本化してください。
- ・ 内容に関する問合せは原則メールにより行い、メールを送った際は、電話にてその旨を一報ください。
- ・ メールの件名は、「XX【〇〇大学】新規認定に関する問合せ」としてください。  
※「XX」には2桁の法人番号を記入してください。

### 【担当者】

文部科学省研究振興局学術機関課

大学研究所・研究予算総括係 熊谷、大久保

〒100-8959 千代田区霞が関3-2-2 [東館 17F]

TEL : 03-6734-4084 (直通)

E-mail : gakkikan@mext.go.jp

(別紙)

文 書 番 号  
平成 年 月 日

文部科学大臣 殿

大学名  
学長名 印

平成30年度からの共同利用・共同研究拠点の認定の公募  
について（申請）

平成 年 月 日付け 文科振第 号で通知のあった標記について、下記のと  
おり申請しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

共同利用・共同研究拠点の名称	申請施設
○ ○ ○ 拠点	※ 単 独 拠 点 の 記 載 例 ○ ○ ○ 研 究 所
○ ○ ○ 拠点	※ ネットワーク型拠点の記載例 □ □ 大学 □ □ □ 研究所（中核拠点） △ △ 大学 △ △ △ 研究センター ◎ ◎ 大学 ◎ ◎ ◎ センター
○ ○ ○ 拠点	※ 連携ネットワーク型拠点の記載例 □ □ 大学 □ □ □ 研究所 （ 連 携 施 設 ） ○ ○ 機 構 ○ ○ ○ 研 究 所 ○ ○ 機 構 ○ ○ ○ 研 究 セ ン タ ー

以上

# 新規認定申請書

## 【〇〇大学〇〇研究所】

### 目次

1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 申請施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 共同利用・共同研究の状況・・・・・・・・・・・・・・・・
4. 研究者コミュニティの状況・・・・・・・・・・・・・・・・
5. 共同利用・共同研究拠点の運営に対する支援体制・・・・・・・・
6. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献・・・
7. 第3期における拠点としての方向性・・・・・・・・・・・・・・・・
  
- 【別紙Ⅱ】 申請施設における人員・予算等の状況・・・・・・・・
- 【別紙Ⅲ】 申請施設における競争的資金の採択等の状況・・・・・・・・
- 【別紙Ⅳ】 申請施設におけるこれまでの主な研究実績(成果等)・・・・・・・・
- 【別紙Ⅴ】 共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の・・・・  
整備・利用状況
- 【別紙Ⅵ】 共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況・・・
- 【別紙Ⅶ】 申請施設における共同利用・共同研究の実績・成果・・・・・・・・
- 【別添】 連携する研究施設概要※該当する申請施設のみ・・・・・・・・

## 新規認定申請書【単独拠点用】

大 学 名				
申 請 者	学 長 名			
	本部所在地	〒		
拠 点 の 名 称	(例：○○○○○拠点)			
申 請 施 設 の 名 称	(例：○○○研究所) ※連携する研究施設がある場合は記載するとともに、別添「連携する研究施設概要」を作成。			
研 究 分 野	※共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入			
申 請 施 設 の 代 表 者	フリガナ		生年月日	昭和 年 月 日 ( 歳)
	氏 名			
	所属部署		役 職 名	
	所 在 地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			
1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要				
<p>(1) 共同利用・共同研究拠点の目的・概要</p> <p>※拠点の目的</p> <p>※拠点の全体計画の概要</p> <p>※拠点の目指す役割</p> <p>※拠点形成の必要性</p> <p>※連携する研究施設がある場合は、連携の必要性について記入</p>				
<p>(2) 期待される効果、意義</p> <p>※関連研究者コミュニティへの寄与</p> <p>※関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与 (全国的な学術研究の発展への寄与)</p> <p>※若手研究者育成への寄与 (当該分野における若手研究者育成の必要性)</p> <p>※連携する研究施設がある場合は、連携により期待される効果についても記入</p>				

(3) 共同利用・共同研究拠点の体制

※運営委員会等を中心とした体制を記入（全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入）

※連携する研究施設がある場合は、当該施設を含めた構成図と役割分担についても記入

## 2. 申請施設の概要

※申請施設の組織

※学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付

※申請施設における人員、予算等の状況【別紙Ⅱ】

※申請施設における競争的資金の採択等の状況【別紙Ⅲ】

※申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）【別紙Ⅳ】

組織（組織図等）

## 3. 共同利用・共同研究の状況

(1) 共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況【別紙Ⅴ】

(2) 共同利用・共同研究の参加者に対する支援体制

※研究室等の提供状況 等

(3) 運営委員会の状況

※運営委員会の共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割

※設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付

(4) 共同利用・共同研究の課題の公募方法

※共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法

※採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付

(5) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信

※共同利用・共同研究に関する情報提供の内容・方法

※共同利用・共同研究による研究成果の情報発信の仕組み

※共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況【別紙Ⅵ】



<p>(6) 単年度の共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数</p>
<p>(7) 申請施設における共同利用・共同研究の実績・成果【別紙Ⅶ】</p>
<p>4. 研究者コミュニティの状況</p> <p>※関連する研究者コミュニティの分野          ※関連する学会等の名称          ※研究者コミュニティからの要望の概要（要望書等を別途添付）</p>
<p>5. 共同利用・共同研究拠点の運営に対する支援体制について</p>
<p>(1) 学内の支援体制</p> <p>※拠点における専任研究者・教育研究支援者等の措置状況          ※学内予算の配分状況 等</p>
<p>(2) 事務体制</p> <p>※拠点の事務体制について（組織図等を記入）</p>
<p>6. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献</p> <p>※グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組等</p>
<p>7. 第3期中期目標・中期計画期間における拠点としての方向性</p>
<p>①拠点としてどのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか。</p> <p>※グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等</p>

②大学として、拠点をどのように位置付け、今後どのように発展させていくのか。

事務担当責任者	フリガナ		所属部署	
	氏名		役職名	
	所在地	〒		
	T E L		F A X	
E - m a i l				

申請施設における人員・予算等の状況

1. 人員

	平成26年度(H26.5.1現在)											平成27年度(H27.5.1現在)																															
	常勤						非常勤					総数	常勤						非常勤					総数																			
	現員数	任期制導入状況					併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))		現員数	任期制導入状況					併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))																				
		(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(任期付教員数)	(女性数)						(外国人数)		(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)						(外国人数)	(若手数(35歳以下))																		
教授												0																															0
准教授												0																									0						
講師												0																									0						
助教												0																									0						
助手												0																									0						
技術職員												0																									0						
事務職員												0																									0						
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						

	平成28年度(H28.5.1現在)											平成○年度(H○.○.1現在) ※																									
	常勤						非常勤					総数	常勤						非常勤					総数													
	現員数	任期制導入状況					併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))		現員数	任期制導入状況					併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))														
		(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(任期付教員数)	(女性数)						(外国人数)		(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)						(外国人数)	(若手数(35歳以下))												
教授												0																									0
准教授												0																									0
講師												0																									0
助教												0																									0
助手												0																									0
技術職員												0																									0
事務職員												0																									0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※今後、拠点化にあたり、学内措置等により、人員の拡充等を予定している場合に記入。

## 2. 人材の流動性

### (1) 人材の流動状況

	平成25年度				平成26年度				平成27年度			
	転入等		転出等		転入等		転出等		転入等		転出等	
	総数 (新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数 (退職者数)	(転出者数) (内部昇任者数)	総数 (新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数 (退職者数)	(転出者数) (内部昇任者数)	総数 (新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数 (退職者数)	(転出者数) (内部昇任者数)
教授	0		0		0		0		0		0	
准教授	0		0		0		0		0		0	
講師	0		0		0		0		0		0	
助教	0		0		0		0		0		0	
助手	0		0		0		0		0		0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 転入元・転入先一覧

※上記表の転入者については転入元の、転出者については転出先の機関名及び職名を記入。

平成25年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

平成26年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

平成27年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

## 3. 予算の状況

### (1) 歳出決算額

[単位:千円]

区分	決算額				備考
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
支出合計				#DIV/0!	
うち、人件費				#DIV/0!	
うち、共同研究費(a)				#DIV/0!	
うち、共同研究旅費(b)				#DIV/0!	
うち、その他				#DIV/0!	
計 (a+b)	0	0	0	#DIV/0!	

申請施設における競争的資金の採択等の状況

(1) 競争的資金等の採択状況

区分	平成26年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
国際共同研究加速基金	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成26年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

教員数	:		人
科学研究費	:	#DIV/0! 件	#DIV/0! 百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0! 件	#DIV/0! 百万円

区分	平成27年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成27年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

教員数 : 0 人

区分	平成28年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成28年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

教員数 : 0 人

区分	平均					
	件数			採択率	金額(千円)	
	区分	応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
新学術領域研究	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
基盤研究(S)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
基盤研究(A)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
基盤研究(B)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
基盤研究(C)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
挑戦的萌芽研究	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
若手研究(A)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
若手研究(B)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
研究活動スタート支援	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
研究成果公開促進費	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
特別研究促進費	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
国際共同研究加速基金	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
小計	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
小計	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
計	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!



[単位:件、百万円]

主なその他の補助金等の内訳 (H26~H28)				
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				
小計			0	

[単位:件、百万円]

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
民間等との共同研究	件数				#DIV/0!
	金額				#DIV/0!
受託研究	件数				#DIV/0!
	金額				#DIV/0!
奨学寄付金	件数				#DIV/0!
	金額				#DIV/0!

(2) 主な受賞状況

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象となったの研究課題名

(3) 当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数

[単位:人]

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外
博士号取得者数							#DIV/0!	#DIV/0!

(注) 大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、以下にその事情を記載のうえ、あわせて上記に替わるデータを示すことができる場合は記載((1)~(3)共通)。

## 申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）

【平成〇〇年度】

研究実績(成果等)の概要	研究代表者

※過去3年度（平成25～27年度）分の主な研究実績（成果等）を別葉で記入すること

## 共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況

## 1. 施設・設備の利用状況

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的								
		稼働状況		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均
使用者の所属機関		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		
		共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数		
1	学内(法人内)							#DIV/0!	#DIV/0!	
	国立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	公立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	私立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	大学共同利用機関法人							#DIV/0!	#DIV/0!	
	独立行政法人等公的研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	民間機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	外国機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	その他							#DIV/0!	#DIV/0!	
	計	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
	稼働率(b/a)		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %	
	年間稼働可能時間(a)								#DIV/0!	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		0		0		0		0.0	
	共同利用に供した時間(c)								#DIV/0!	
共同利用以外の研究に供した時間(d)								#DIV/0!		
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)								#DIV/0!		

## 2. 学術資料の利用・提供・整備状況

資料名	資料の概要				整備の状況、利用・提供方法
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
1	保有数/利用・提供状況				
	保有数				#DIV/0!
	利用・提供区分				-
	利用件数				#DIV/0!
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)				#DIV/0!

## 3. データベースの作成・公開状況

データベース名	蓄積情報の概要				公開方法
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
1	蓄積量/利用・提供状況				
	蓄積量				#DIV/0!
	利用件数				#DIV/0!
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)				#DIV/0!

## 共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況

## 1. 主に研究者を対象としたもの

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
25							0 (0)	0 (0)
26							0 (0)	0 (0)
27							0 (0)	0 (0)
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0 (0)	0 (0)

○参加人数の算定方法

## 主なシンポジウム、研究会等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	研究会等名称	概要	参加人数

※件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入

※参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入

## 2. 主に研究者以外の者(社会人・学生等)を対象としたもの

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・公開講座		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
25							0 0	0 0
26							0 0	0 0
27							0 0	0 0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0 0	0 0

○主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数

## 申請施設における共同利用・共同研究の実績・成果

## 1. 主な共同利用・共同研究の実績（成果等）

【平成〇〇年度】

共同利用・共同研究課題名	共同利用・共同研究実績の概要（成果等）

※過去3年度（平成25～27年度）分の実績を別葉で記入すること

## 2. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
採択状況	応募件数(A)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択件数(B)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件	
実施状況	新規分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	継続分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	合計	公募型実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		公募型以外実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	0 件	0 件	0 件	0.0 件

## 3. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	平成25年度							
	機関数	受入人数			延べ人数			
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	
学内(法人内)								
国立大学								
公立大学								
私立大学								
大学共同利用機関法人								
独立行政法人等公的研究機関								
民間機関								
外国機関								
その他								
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平成26年度								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
学内(法人内)									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

区分	平成27年度								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
学内(法人内)									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

区分	平均								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
学内(法人内)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
国立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
公立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
私立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
大学共同利用機関法人	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
独立行政法人等公的研究機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
民間機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外国機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
その他	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※1 下段には女性研究者数(内数)

#### 4. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

共同利用・共同研究による成果として発表された論文について、総論文数と著者の構成により次の5つに分けて記入。  
 なお、論文の分野区分については、科学技術政策研究所の「科学研究のベンチマーキング」の区分に人文社会系を追加したものとする。ベンチマーキングの区分の詳細については下記参照。

「<http://data.nistep.go.jp/dspace/bitstream/11035/1196/5/NISTEP-RM218-FullJ.pdf>」本編の5ページ

共同利用・共同研究による成果として発表された論文の総数

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学	0	0	0	0
材料科学	0	0	0	0
物理学	0	0	0	0
計算機&数学	0	0	0	0
工学	0	0	0	0
環境&地球科学	0	0	0	0
臨床医学	0	0	0	0
基礎生命科学	0	0	0	0
人文社会系	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
うち国際学術誌	0	0	0	0

(1)申請施設に所属する者(大学院生を含む)のみの論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

(2)申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)の論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0! #DIV/0!
材料科学				#DIV/0! #DIV/0!
物理学				#DIV/0! #DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0! #DIV/0!
工学				#DIV/0! #DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0! #DIV/0!
臨床医学				#DIV/0! #DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0! #DIV/0!
人文社会系				#DIV/0! #DIV/0!
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! #DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0! #DIV/0!

※右側の( )内には、申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--



(3)申請施設以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)のみの論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

(4)国内の研究機関(申請施設を含む)に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0! #DIV/0!
材料科学				#DIV/0! #DIV/0!
物理学				#DIV/0! #DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0! #DIV/0!
工学				#DIV/0! #DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0! #DIV/0!
臨床医学				#DIV/0! #DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0! #DIV/0!
人文社会系				#DIV/0! #DIV/0!
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! #DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0! #DIV/0!

※申請施設に所属する者を含まない論文については、申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

※右側の( )内には、申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--	--	--	--	--	--

(5)国外の研究機関に所属する者のみの論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

○ 高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主なものを以下に記載。

※申請施設外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

雑誌名	掲載論文数	主なもの		
		掲載年月	論文名	発表者名

(注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記載。

※申請施設外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

インパクトファクター以外の指標とその理由		主なもの		
雑誌名	掲載論文数	掲載年月	論文名	発表者名

5. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。

## 連 携 す る 研 究 施 設 概 要

平成28年5月1日現在

施設名							
設置目的							
沿 革							
所 在 地							
所 長 名	(ふりがな)						
組 織	研究部門数	研究(大)部門					
	研究部門名	1)				5)	
		2)				6)	
		3)				7)	
		4)				8)	
	研究施設数	施設					
	施設名等	施 設 名			施設長等名(ふりがな)		
教員数	教員 ○○名						
	教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
	( )	( )	( )	( )	( )		
予 算	百万円 (平成28年度)						
研究内容							
特記事項							
備 考							

## 連携する研究施設概要

平成28年5月1日現在

研究所名	〇〇大学 〇〇〇〇研究所						
設置目的	〇〇〇〇〇〇〇〇の研究						
沿革	昭和〇〇年 〇〇学部附属〇〇研究施設設置 平成〇年 〇〇研究所設置						
所在地	〇〇県〇〇市 〇—〇—〇						
所長名	〇〇 〇〇(ふりがな)						
組織	研究部門数	〇 研究(大)部門					
	研究部門名	1) 〇〇〇〇研究部門				5)	
		2) △△△△研究部門				6)	
		3) ××××研究部門				7)	
		4) ・ ・ ・ ・ ・				8)	
	研究施設数	〇 施設					
	施設名等	施設名			施設長等名(ふりがな)		
		〇〇〇〇研究施設			〇〇 〇〇(ふりがな)		
		〇〇〇〇研究センター			〇〇 〇〇(ふりがな)		
		〇〇実験所			〇〇 〇〇(ふりがな)		
・ ・ ・ ・ ・			・ ・ ・ ・ ・				
教員数	教員 〇〇名						
	教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
						専任教員数(特任教員含む)	
	( )	( )	( )	( )	( )	兼任教員数、非常勤教員数の合計(外数)	
予算	〇〇 百万円(平成28年度)						
研究内容	〇〇〇〇〇〇〇〇の研究 〇〇〇〇〇〇〇〇の開発と応用 〇〇〇〇〇〇〇〇の解明 〇〇〇〇〇〇〇〇の解明と応用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						
特記事項	〇〇〇〇〇〇〇〇に関して世界最高性能を持つ設備を有し…。 日本で唯一の〇〇〇〇〇〇〇〇に関する△△△△のデータベースを有し…。 〇〇〇〇〇〇〇〇に関する学術資料を△△△△万部有し…。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						
備考							

# 新規認定申請書

## ネットワーク構成機関

〇〇大学〇〇〇〇研究所（中核機関）	
〇〇大学〇〇〇〇研究所	〇〇大学〇〇〇〇研究所
〇〇大学〇〇〇〇研究所	〇〇大学〇〇〇〇研究所

## 目次

### 【総括票】

1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 共同利用・共同研究の状況・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 研究者コミュニティの状況・・・・・・・・・・・・・・・・
4. 国立大学全体の機能強化への貢献・・・・・・・・・・・・・・・・
5. 第3期における拠点としての方向性・・・・・・・・・・・・・・・・
- 【別紙Ⅱ】共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況・・・
- 【別紙Ⅲ】ネットワークの連携等による共同利用・共同研究の・・・  
実績・成果

### 【個票（研究施設毎）】

1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 申請施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 共同利用・共同研究の状況・・・・・・・・・・・・・・・・
4. 共同利用・共同研究拠点の運営に対する支援体制・・・・・・・・
5. 各国立大学の強み・特色としての国立大学全体の機能強化への・・・  
貢献
6. 第3期における拠点としての方向性・・・・・・・・・・・・・・・・
- 【別紙Ⅰ】申請施設における人員・予算等の状況・・・・・・・・
- 【別紙Ⅱ】申請施設における競争的資金の採択等の状況・・・・・・・・
- 【別紙Ⅲ】申請施設におけるこれまでの主な研究実績(成果等)・・・・・・・・
- 【別紙Ⅳ】共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の・・・  
整備・利用状況
- 【別紙Ⅴ】共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況・・・
- 【別紙Ⅵ】申請施設における共同利用・共同研究の実績・成果・・・・・・・・

## 新規認定申請書 【ネットワーク型拠点用】

## 【総括票】

中核拠点大学名				
申 請 者	学 長 名			
	本部所在地	〒		
拠 点 の 名 称	(例：○○○○○拠点)			
申 請 施 設 の 名 称	(例：○○○研究所)			
研 究 分 野	※共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入			
中核拠点施設の代表者	フリガナ		生年月日	昭和 年 月 日 ( 歳)
	氏 名			
	所 属 部 署		役 職 名	
	所 在 地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			
1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要				
<p>(1) 共同利用・共同研究拠点の目的・概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※拠点の目的</li> <li>※拠点の全体計画の概要</li> <li>※拠点の目指す役割</li> <li>※拠点形成の必要性</li> <li>※ネットワーク型拠点とする必要性</li> </ul> <p>(2) 期待される効果、意義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※関連研究者コミュニティへの寄与</li> <li>※関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与 (全国的な学術研究の発展への寄与)</li> <li>※若手研究者育成への寄与 (当該分野の若手研究者育成の必要性)</li> <li>※ネットワーク型拠点として期待される相乗効果</li> </ul>				

(3) 共同利用・共同研究拠点の体制

※運営委員会等を中心とした体制を記入（全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入）

※ネットワークの構成図と役割分担についても記入

<p>2. 共同利用・共同研究の状況</p>
<p>(1) 共同利用・共同研究の参加者に対する支援体制  ※研究室等の提供状況 等</p>
<p>(2) 運営委員会の状況  ※運営委員会の共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割  ※設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付</p>
<p>(3) 共同利用・共同研究の課題の公募方法  ※共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法  ※採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付</p>
<p>(4) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信  ※共同利用・共同研究に関する情報提供の内容・方法  ※共同利用・共同研究による研究成果の情報発信の仕組み  ※共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況【別紙Ⅱ】</p>
<p>(5) 単年度の共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数</p>
<p>(6) ネットワークの連携等による共同利用・共同研究の実績・成果【別紙Ⅲ】</p>
<p>3. 研究者コミュニティの状況</p>
<p>※関連する研究者コミュニティの分野  ※関連する学会等の名称  ※研究者コミュニティからの要望の概要（要望書等を別途添付）</p>



4. 国立大学全体の機能強化への貢献

※グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組等

5. 第3期中期目標・中期計画期間における拠点としての方向性

拠点としてどのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか。

※グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等

事務担当責任者	フリガナ		所属部署	
	氏名		役職名	
	所在地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			

## 共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況

## 1. 主に研究者を対象としたもの

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
25							0 (0)	0 (0)
26							0 (0)	0 (0)
27							0 (0)	0 (0)
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0 (0)	0 (0)

○参加人数の算定方法

## 主なシンポジウム、研究会等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	研究会等名称	概要	参加人数

※件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入

※参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入

## 2. 主に研究者以外の者(社会人・学生等)を対象としたもの

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・公開講座		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
25							0 0	0 0
26							0 0	0 0
27							0 0	0 0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0 0	0 0

○主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数

## ネットワークの連携等による共同利用・共同研究の実績・成果

## 1. ネットワークの連携等による主な共同利用・共同研究の実績（成果等）

【平成〇〇年度】

共同利用・共同研究課題名	研究所名	共同利用・共同研究の実績（成果等）

※過去3年度（平成25～27年度）分の実績を別葉で記入すること

## 2. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
採択状況	応募件数(A)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択件数(B)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件	
実施状況	新規分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	継続分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	合計	公募型実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		公募型以外実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	0 件	0 件	0 件	0.0 件

## 3. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	平成25年度							
	機関数	受入人数			延べ人数			大学院生
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	
ネットワーク内								
国立大学								
公立大学								
私立大学								
大学共同利用機関法人								
独立行政法人等公的研究機関								
民間機関								
外国機関								
その他								
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平成26年度								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
ネットワーク内									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

区分	平成27年度								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
ネットワーク内									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

区分	平均								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
ネットワーク内	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
国立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
公立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
私立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
大学共同利用機関法人	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
独立行政法人等公的研究機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
民間機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外国機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
その他	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※1 下段には女性研究者数(内数)

#### 4. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

共同利用・共同研究による成果として発表された論文について、著者の構成により次の5つに分けて記入。

なお、論文の分野区分については、科学技術政策研究所の「科学研究のベンチマーキング」の区分に人文社会系を追加したものとす。ベンチマーキングの区分の詳細については下記参照。

「<http://data.nistep.go.jp/dspace/bitstream/11035/1196/5/NISTEP-RM218-FullJ.pdf>」本編の5ページ

##### 共同利用・共同研究による成果として発表された論文の総数

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学	0	0	0	0
材料科学	0	0	0	0
物理学	0	0	0	0
計算機&数学	0	0	0	0
工学	0	0	0	0
環境&地球科学	0	0	0	0
臨床医学	0	0	0	0
基礎生命科学	0	0	0	0
人文社会系	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
うち国際学術誌	0	0	0	0

##### (1) ネットワークの構成機関に所属する者(大学院生を含む)のみの論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

##### (2) ネットワークの構成機関に所属する者とネットワークの構成機関以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)の論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0! #DIV/0!
材料科学				#DIV/0! #DIV/0!
物理学				#DIV/0! #DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0! #DIV/0!
工学				#DIV/0! #DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0! #DIV/0!
臨床医学				#DIV/0! #DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0! #DIV/0!
人文社会系				#DIV/0! #DIV/0!
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! #DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0! #DIV/0!

※右側の( )内には、ネットワークの構成機関に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--

(3) ネットワークの構成機関以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)の論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

(4) 国内の研究機関(申請施設を含む)に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0! #DIV/0!
材料科学				#DIV/0! #DIV/0!
物理学				#DIV/0! #DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0! #DIV/0!
工学				#DIV/0! #DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0! #DIV/0!
臨床医学				#DIV/0! #DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0! #DIV/0!
人文社会系				#DIV/0! #DIV/0!
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! #DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0! #DIV/0!

※ネットワークの構成機関に所属する者を含まない論文については、ネットワークの構成機関における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

※右側の( )内には、ネットワークの構成機関に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--

(5) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

※ネットワークの構成機関における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

○ 高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主なものを以下に記載。

※ ネットワークの構成機関外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

雑誌名	掲載論文数	主なもの		
		掲載年月	論文名	発表者名

(注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記載。

ネットワークの構成機関外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

インパクトファクター以外の指標とその理由		主なもの		
雑誌名	掲載論文数	掲載年月	論文名	発表者名

5. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。

--



【個票】

大 学 名				
申 請 者	学 長 名			
	本部所在地	〒		
拠 点 の 名 称	(例：○○○○○拠点)			
申 請 施 設 の 名 称	(例：○○○研究所)			
研 究 分 野	※共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入			
申 請 施 設 の 代 表 者	フリガナ		生年月日	昭和 年 月 日 ( 歳)
	氏 名			
	所属部署		役 職 名	
	所 在 地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			
1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要				
<p>(1) 共同利用・共同研究拠点の目的・概要</p> <p>※拠点の目的</p> <p>※ネットワーク型拠点の中での役割</p> <p>※ネットワーク型拠点の中での必要性</p> <p>(2) 期待される効果、意義</p> <p>※関連研究者コミュニティへの寄与</p> <p>※関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与 (全国的な学術研究の発展への寄与)</p> <p>※若手研究者育成への寄与 (当該分野における若手研究者育成の必要性)</p>				

## 2. 申請施設の概要

### ※申請施設の組織

※学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付

※申請施設における人員、予算等の状況【別紙Ⅰ】

※申請施設における競争的資金の採択等の状況【別紙Ⅱ】

※申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）【別紙Ⅲ】

組織（組織図等）

## 3. 共同利用・共同研究の状況

(1) 共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況【別紙Ⅳ】

(2) 共同利用・共同研究の参加者に対する支援体制

※研究室等の提供状況 等

(3) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信

※共同利用・共同研究に関する情報提供の内容・方法

※共同利用・共同研究による研究成果の情報発信の仕組み

※共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況【別紙Ⅴ】

<p>(4) 単年度の共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数</p>
<p>(5) 申請施設における共同利用・共同研究の実績・成果【別紙VI】</p>
<p>4. 共同利用・共同研究拠点の運営に対する支援体制について</p> <p>(1) 学内の支援体制</p> <p>※拠点における専任研究者・教育研究支援者等の措置状況</p> <p>※学内予算の配分状況 等</p>
<p>(2) 事務体制</p> <p>※拠点の事務体制について（組織図等を記入）</p>
<p>5. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献</p> <p>※グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組等</p>
<p>6. 第3期中期目標・中期計画期間における拠点としての方向性</p> <p>①拠点としてどのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか。</p> <p>※グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等</p>

②大学として、拠点をどのように位置付け、発展させていくのか。

事務担当責任者	フリガナ		所属部署	
	氏名		役職名	
	所在地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			



## 2. 人材の流動性

### (1) 人材の流動状況

	平成25年度				平成26年度				平成27年度			
	転入等		転出等		転入等		転出等		転入等		転出等	
	総数 (新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数 (退職者数) (転出者数)	(内部昇任者数)	総数 (新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数 (退職者数) (転出者数)	(内部昇任者数)	総数 (新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数 (退職者数) (転出者数)	(内部昇任者数)
教授	0		0		0		0		0		0	
准教授	0		0		0		0		0		0	
講師	0		0		0		0		0		0	
助教	0		0		0		0		0		0	
助手	0		0		0		0		0		0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2) 転入元・転入先一覧

※上記表の転入者については転入元の、転出者については転出先の機関名及び職名を記入。

平成25年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

平成26年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

平成27年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

## 3. 予算の状況

### (1) 歳出決算額

[単位:千円]

区分	決算額				備考
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
支出合計				#DIV/0!	
うち、人件費				#DIV/0!	
うち、共同研究費(a)				#DIV/0!	
うち、共同研究旅費(b)				#DIV/0!	
うち、その他				#DIV/0!	
計 (a+b)	0	0	0	#DIV/0!	

## 申請施設における競争的資金の採択等の状況

## (1) 競争的資金等の採択状況

区分	平成26年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体	- -	- -	- -	-	-
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成26年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

	教員数	:		人
科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!
				百万円
				百万円

区分	平成27年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成27年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

教員数 : 0 人



区分	平成28年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成28年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

教員数 : 0 人

区分	平均					
	件数			採択率	金額(千円)	
	区分	応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
新学術領域研究	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
基盤研究(S)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
基盤研究(A)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
基盤研究(B)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
基盤研究(C)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
挑戦的萌芽研究	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
若手研究(A)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
若手研究(B)	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
研究活動スタート支援	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
研究成果公開促進費	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
特別研究促進費	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
国際共同研究加速基金	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
小計	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
小計	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
計	新規 全体	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!

[単位:件、百万円]

主なその他の補助金等の内訳 (H26~H28)				
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				
小計			0	

[単位:件、百万円]

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
民間等との共同研究	件数				#DIV/0!
	金額				#DIV/0!
受託研究	件数				#DIV/0!
	金額				#DIV/0!
奨学寄付金	件数				#DIV/0!
	金額				#DIV/0!

(2) 主な受賞状況

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象となったの研究課題名

(3) 当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数

[単位:人]

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外
博士号取得者数							#DIV/0!	#DIV/0!

(注) 大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、以下にその事情を記載のうえ、あわせて上記に替わるデータを示すことができる場合は記載((1)~(3)共通)。

## 申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）

【平成〇〇年度】

研究実績(成果等)の概要	研究代表者

※過去3年度（平成25～27年度）分の主な研究実績（成果等）を別葉で記入すること

## 共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況

## 1. 施設・設備の利用状況

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的								
		稼働状況		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均
使用者の所属機関		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		
		共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数		
1	学内(法人内)							#DIV/0!	#DIV/0!	
	国立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	公立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	私立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	大学共同利用機関法人							#DIV/0!	#DIV/0!	
	独立行政法人等公的研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	民間機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	外国機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	その他							#DIV/0!	#DIV/0!	
	計	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
	稼働率(b/a)		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %	
	年間稼働可能時間(a)								#DIV/0!	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		0		0		0		0.0	
	共同利用に供した時間(c)								#DIV/0!	
共同利用以外の研究に供した時間(d)								#DIV/0!		
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)								#DIV/0!		

## 2. 学術資料の利用・提供・整備状況

資料名	資料の概要				整備の状況、利用・提供方法
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
1	保有数/利用・提供状況				
	保有数				#DIV/0!
	利用・提供区分				-
	利用件数				#DIV/0!
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)				#DIV/0!

## 3. データベースの作成・公開状況

データベース名	蓄積情報の概要				公開方法
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
1	蓄積量/利用・提供状況				
	蓄積量				#DIV/0!
	利用件数				#DIV/0!
	共同利用・共同研究者利用件数(内数)				#DIV/0!

## 共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況

## 1. 主に研究者を対象としたもの

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
25							0 (0)	0 (0)
26							0 (0)	0 (0)
27							0 (0)	0 (0)
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0 (0)	0 (0)

○参加人数の算定方法

## 主なシンポジウム、研究会等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	研究会等名称	概要	参加人数

※件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入

※参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入

## 2. 主に研究者以外の者(社会人・学生等)を対象としたもの

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・公開講座		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
25							0 0	0 0
26							0 0	0 0
27							0 0	0 0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0 0	0 0

○主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数

## 申請施設における共同利用・共同研究の実績・成果

## 1. 主な共同利用・共同研究の実績（成果等）

【平成〇〇年度】

共同利用・共同研究課題名	共同利用・共同研究の実績（成果等）

※過去3年度（平成25～27年度）分の実績を別葉で記入すること

## 2. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

区分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均	
採択状況	応募件数(A)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択件数(B)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件	
実施状況	新規分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	継続分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	合計	公募型実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		公募型以外実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	0 件	0 件	0 件	0.0 件

## 3. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	平成25年度							
	機関数	受入人数			延べ人数			大学院生
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	
学内(法人内)								
国立大学								
公立大学								
私立大学								
大学共同利用機関法人								
独立行政法人等公的研究機関								
民間機関								
外国機関								
その他								
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)



区分	平成26年度								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
学内(法人内)									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

区分	平成27年度								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
学内(法人内)									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

区分	平均								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
学内(法人内)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
国立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
公立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
私立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
大学共同利用機関法人	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
独立行政法人等公的研究機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
民間機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外国機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
その他	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※1 下段には女性研究者数(内数)

#### 4. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

共同利用・共同研究による成果として発表された論文について、著者の構成により次の5つに分けて記入。

なお、論文の分野区分については、科学技術政策研究所の「科学研究のベンチマーキング」の区分に人文社会系を追加したものとする。ベンチマーキングの区分の詳細については下記参照。

「<http://data.nistep.go.jp/dspace/bitstream/11035/1196/5/NISTEP-RM218-FullJ.pdf>」本編の5ページ

##### 共同利用・共同研究による成果として発表された論文の総数

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学	0	0	0	0
材料科学	0	0	0	0
物理学	0	0	0	0
計算機&数学	0	0	0	0
工学	0	0	0	0
環境&地球科学	0	0	0	0
臨床医学	0	0	0	0
基礎生命科学	0	0	0	0
人文社会系	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
うち国際学術誌	0	0	0	0

##### (1)申請施設に所属する者(大学院生を含む)のみの論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

##### (2)申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)の論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0! #DIV/0!
材料科学				#DIV/0! #DIV/0!
物理学				#DIV/0! #DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0! #DIV/0!
工学				#DIV/0! #DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0! #DIV/0!
臨床医学				#DIV/0! #DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0! #DIV/0!
人文社会系				#DIV/0! #DIV/0!
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! #DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0! #DIV/0!

※右側の( )内には、申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--

(3)申請施設以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)のみの論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

(4)国内の研究機関(申請施設を含む)に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0! #DIV/0!
材料科学				#DIV/0! #DIV/0!
物理学				#DIV/0! #DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0! #DIV/0!
工学				#DIV/0! #DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0! #DIV/0!
臨床医学				#DIV/0! #DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0! #DIV/0!
人文社会系				#DIV/0! #DIV/0!
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! #DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0! #DIV/0!

※申請施設に所属する者を含まない論文については、申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

※右側の( )内には、申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--	--	--	--	--	--

(5)国外の研究機関に所属する者のみの論文

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
化学				#DIV/0!
材料科学				#DIV/0!
物理学				#DIV/0!
計算機&数学				#DIV/0!
工学				#DIV/0!
環境&地球科学				#DIV/0!
臨床医学				#DIV/0!
基礎生命科学				#DIV/0!
人文社会系				#DIV/0!
合計	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌				#DIV/0!

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

○ 高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主なものを以下に記載。

※申請施設外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

雑誌名	掲載論文数	主なもの		
		掲載年月	論文名	発表者名

(注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記載。

※申請施設外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

インパクトファクター以外の指標とその理由		主なもの		
雑誌名	掲載論文数	掲載年月	論文名	発表者名

5. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。

--